

令和3年度

事業報告書

社会福祉
法人

大分県社会福祉協議会

目 次

概 要	・・・・・・・・・・	1
各部所事業報告		
総務・企画情報部	・・・・・・・・・・	3
地域福祉部	・・・・・・・・・・	9
市民活動支援部	・・・・・・・・・・	23
福祉資金部	・・・・・・・・・・	39
施設団体支援部	・・・・・・・・・・	46
身体障害者福祉センター	・・・・・・・・・・	57
社会福祉介護研修センター	・・・・・・・・・・	69
福祉サービス運営適正化委員会	・・・・・・・・・・	88

令和3年度事業報告（概要）

本会では設立70周年を迎え、第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018」の基本理念である「強い絆で結ばれた地域社会の構築」を念頭に、「安心・安全で尊厳のある自立した暮らしの実現」に向けて、構成組織である社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設、民生委員児童委員協議会、関係福祉団体との連携・協力のもとに、重点課題への対応をはじめとする各事業の推進に取り組んだ。

また、「経営基盤強化・発展計画2019」の着実な推進により、人材の確保・育成及び情報発信の強化等を通して法人の経営基盤の一層の強化を図り、時代のニーズや変化に機敏に対応できる組織の構築に取り組んだ。

加えて、新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度に引き続き生活福祉資金特例貸付を実施した。あわせて、感染拡大防止のため、事業実施にあたり感染予防対策を講じると共に、集合研修とオンライン研修を同時並行で行うハイブリッド方式の研修に加えYouTubeによる研修等の配信を行った。

1 地域福祉推進の強化

住民主体による地域福祉活動の推進を図るとともに、福祉サービス利用者の権利擁護や県民への良質な福祉サービスを提供するための支援強化を図り、さらに地域に密着した福祉活動の一層の強化を図るため、社会福祉協議会の基盤強化に関する研究協議を重ね、地域共生社会の実現に向けた各事業に取り組んだ。

2 新型コロナウイルス感染拡大等による生活困窮者支援の強化

生活困窮者や新型コロナウイルス感染症の影響により失業または減収となった世帯への生活福祉資金特例貸付等の支援を行った。併せて社会福祉法人の社会貢献事業の取り組み支援を行った。

また、日常生活自立支援事業の充実を図るとともに、社協における法人後見の実施に向けた取り組み支援を行った。

3 ボランティア活動の推進

災害時に備えた日頃からのボランティアネットワークづくりと災害ボランティアセンターの人材育成の取り組みを行うとともに、ボランティアとNPO、企業等との一層の連携強化を図った。

4 フードバンク活動及び子ども食堂事業の推進

平成28年に設立した「フードバンクおおいた」は、寄せられた食品を子ども食堂や児童福祉施設、生活困窮者支援窓口やくらしサポート事業実施施設に提供し、食料支援を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイトの離職や仕送り減少などで食事等に困っている県内の大学や専門学校等へ通う外国人留学生に対し、食品や日用品の支援を行った。

5 指定管理施設の充実

大分県社会福祉介護研修センター及び大分県身体障害者福祉センターでは、第4期指定

管理者（令和3～7年度）初年度として、各種事業の充実を図るとともに、福祉人材の育成及び利用者へのサービスの一層の向上に努めた。

6 本会第5次中長期活動計画「だいふくプラン2022」及び「経営基盤強化・発展計画2022」策定に向けての取組み

新型コロナウイルス感染症による本会各種事業及び財政基盤への影響、また経験豊富な職員が多く退職したことや働き方改革等の影響により、第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018」及び「経営基盤強化・発展計画2019」の見直し年度を前倒し、次期計画の令和4年度の完成に向け策定委員会等で協議を行った。

総務・企画情報部

適切な法人運営を行うため、理事会等各種会議を開催したほか、労務管理を適切に行うとともに、人材育成基本方針のもと人事管理の強化に努めた。

1 県社協組織の運営

(1) 役員会等の開催

会議名	期日	主な議題
監事監査	6月2日(水)	・令和2年度事業実施状況、決算状況
第252回理事会	6月8日(火)	・職務執行状況報告 ・令和2年度事業報告 ・令和2年度決算 ・会計監査人の報酬 ・定款の変更 ・諸規程の一部改正 ・評議員選任・解任委員の選任 他
第175回評議員会	6月24日(木)	・令和2年度事業報告 ・令和2年度決算 ・定款の変更 ・役員を選任
第253回理事会	6月24日(木)	・会長、副会長、常務理事及び業務執行理事の選任
第254回理事会	12月17日(金)	・諸規程の一部改正 ・「第5次中期活動計画だいふくプラン2022」及び「経営基盤強化・発展計画2022」策定委員会の設置 他
第176回評議員会	1月14日(金)	・役員を選任
第255回理事会	3月15日(火)	・令和3年度収支補正予算 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度収支予算 ・諸規程の一部改正及び制定 ・役員等賠償責任保険契約の内容 ・評議員選任・解任委員の選任 他
第177回評議員会	3月25日(金)	・令和3年度収支補正予算 ・令和4年度事業計画 ・令和4年度収支予算

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

期日 令和3年6月9日(水)
場所 城崎司法ビル 2階会議室
出席者 委員3人、事務局2人
議案 評議員の選任について

(3) 会計監査人による監査の実施

第1回

期 日 令和3年8月30日(月)～31日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館

第2回

期 日 令和3年11月1日(月)～11月2日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館及び大分県社会福祉介護研修センター

第3回

期 日 令和4年2月1日(火)～2日(水)

場 所 大分県総合社会福祉会館

(4) 市町村社協との連絡調整及び各種会議の開催・参加

①市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長会議

期 日 令和3年5月7日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館 大ホール及びオンライン

出席者 20人

内 容 ・ 県行政説明
・ 令和3年度県社協重点事業、事業計画

②市町村社会福祉協議会総務部課長・職員研究協議会

期 日 令和3年12月24日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館 大ホール

出席者 23人

内 容 ・ 講義「労務関連法制の改正内容と実務対応について」
・ 議題協議

③全国社会福祉協議会・九州社会福祉協議会連合会関係会議等

会 議 名	期 日	場 所
全国社会福祉協議会理事会	6月4日(金)	オンライン
全国社会福祉協議会評議員会	3月23日(水)	全社協
全国社会福祉協議会政策委員会幹事会	4月22日(木)	全社協
災害福祉支援活動の強化に向けた検討会	8月3日(火)	全社協
	11月26日(金)	全社協
	12月22日(水)	全社協
	1月31日(月)	全社協
	3月7日(月)	全社協
都道府県社協常務理事・事務局長セミナー		中止
都道府県社協常務理事・事務局長会議	1月28日(金)	オンライン
九社連理事会		書 面
九社連総務部課長・職員研究会議		書 面
九社連事務局長会議(前期)		書 面
九社連事務局長会議(後期)	3月4日(金)	オンライン

(5) 職員の資質向上等への取り組み

①社会福祉施設等新任職員研修会（4月15日～4月23日の4日間）	11人
②市町村社会福祉協議会 社協新任職員研修会（5月7日）	10人
③職場内新任職員研修会（5月14日）	23人
④社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座中級	2人
⑤社会福祉主事資格認定通信課程（R2年10月1日～R3年9月30日）	5人
社会福祉主事資格認定通信課程（R3年10月1日～R4年3月31日）	1人
⑥メンター・メンティ研修会（6月22日）	23人
⑦メンターの集い（10月29日、2月17日）	4人
メンティの集い（8月27日、2月17日）	4人
⑧テレワークセミナー（8月4日）	1人
⑨企業・団体啓発リーダー養成講座（8月31日、10月4日）	1人
⑩ボランティア全国フォーラム2021（10月30日～31日）	11人
⑪職場内人権研修（12月23日、1月5日）	70人
⑫ファンドレイジング研修会（12月10日、1月12日、1月28日）	6人
⑬大分県市町村社会福祉協議会 課長・係長研修会（12月20日）	1人
⑭ハラスメント対策セミナー	1人
⑮大分県人権啓発重点課題講演会	7人

(6) 職員採用試験の実施

〈総合職〉応募者48人、3人採用（令和4年4月1日付）

(7) 社会福祉関係従事者等の顕彰

10月13日、別府市ビーコンプラザで開催した「第16回大分県地域福祉推進大会」の席上において、136人・24団体の表彰を行った。

①県社協会長表彰

・民生委員児童委員特別功労者	15人
・社会福祉事業関係功労者	74人
・優良社会福祉施設・団体	1団体
・自立更生者	4人
・ボランティア功労者・団体	7人・2団体
・事業協力者	1人

②県社協会長感謝状

・ボランティア功労者・団体	25人・9団体
・善意銀行寄付者・団体	4人・12団体
・事業協力者	6人

(8) 指定管理施設の管理・運営

社会福祉介護研修センター及び身体障害者福祉センターの指定管理者として、両施設の効率的な管理・運営に努めた。

(9) 「経営基盤強化・発展計画2019」の推進

第二次経営基盤強化・発展計画（令和元年～令和4年）の着実な推進に取り組んだ。

- ①経営企画会議の開催
- ②会計監査人による監査
- ③人材育成基本方針に基づく研修の受講
- ④年5日の年次有給休暇の完全取得
- ⑤メンター制度の導入（対象者3人に月1回のメンタリング）
- ⑥健康経営の実施（安全衛生委員会の開催、健康経営企業一社一健康宣言、ストレスチェックの実施、産業医と職員との面談、「おおいた歩得」職場対抗戦）
- ⑦ラインワークスの導入

(10)「大分県社協第5次中長期活動計画だいふくプラン2022」及び「大分県社協経営基盤強化・発展計画2022」策定に係る取組み

※以下、だいふくプランについては「プラン」、経営基盤強化・発展計画については「計画」、ワーキンググループについては「WG」、スーパーバイザーについては「SV」と記載する。

日 程	内 容	備 考
8月17日(火)	プラン2022策定協議	第1回プラン策定WG会議
8月26日(木)	SV（大分大学滝口真准教授）との協議	
8月19日(木)	プラン及び計画2022策定に係る検討	部所長による経営企画会議 （プラン及び計画2022策定に係る検討）
8月19日(木)	プラン及び計画2022策定に係る検討	全部所によるメール協議 （旧プランの評価に関する作業）
9月6日(月)	プラン策定協議	WGによるメール協議 （旧プランの評価に関する協議）
9月6日(月)	SVとの協議	
9月15日(水)	計画2022策定協議	第1回計画策定WG会議 （旧計画の評価に関する協議）
9月22日(水)	プラン2022策定協議	第2回プラン策定WG会議 （プランの構成に関する協議）
9月24日(金)	プラン2022策定協議	全部所によるメール協議 （次期プランの目標立案作業）
10月7日(木)	計画2022策定協議	第2回計画策定WG会議 （次期計画の構成及び目標立案に関する協議）
10月13日(水)	計画2022策定協議	WGによるメール協議 （次期計画案の加筆修正作業）
10月28日(木)	計画2022策定協議	WGによるメール協議 （次期計画案の加筆修正作業）
11月12日(金)	プラン2022策定協議	全部所によるメール協議 （次期プランの加筆修正作業）
11月17日(水)	プラン及び計画2022策定に係る検討	部所長による経営企画会議 （プラン及び計画2022素案の提示、内容協議）
11月19日(金)	プラン及び計画2022策定に係る	全部所によるメール協議

	検討	(次期プラン・計画案の加筆修正作業)
11月25日(木)	プラン2022策定協議	第3回プラン策定WG会議
11月26日(金)	プラン2022策定協議	全部所によるメール協議 (プランの加筆修正作業)
12月2日(木)	SVとの協議	
12月17日(金)	第1回計画策定委員会	構成(案)協議
1月14日(金)	第166回評議員会	構成(案)協議
2月25日(金)	プラン及び計画2022策定に係る 検討	文書協議 (プラン及び計画2022素案の提示、及び事前意見提出依頼)
3月1日(火)	SVとの協議	
3月15日(火)	第2回計画策定委員会	プラン・計画(素案)協議
3月25日(金)	第177回評議員会	プラン・計画(素案)協議

2 善意銀行の運営

指定預託金71件、一般預託金20件、物品(食料、消毒、マスク、絵本等)21件、合計112件の預託があった。一般預託金については、大分いのちの電話等13団体に対して助成を行った。

3 総合社会福祉会館の運営

(1) 施設の利用状況

福祉関係団体をはじめ広く一般に、研修、会議、大会等の会場としての利用促進を図った。利用件数は増加したが、コロナ禍によるソーシャルディスタンスを保つために会場定員を減らした利用が多かったため、利用人数は減少が見られた。

【大分県総合社会福祉センター】

※()は令和2年度の実績

区分	福祉関係		一般		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	計
大ホール	151 (166)	6,162 (6,939)	15 (40)	1,255 (2,751)	166 (206)	7,417 (9,690)
中研修室	62 (70)	1,069 (1,164)	10 (29)	395 (866)	72 (99)	1,464 (2,030)
小研修室	235 (127)	1,849 (1,126)	25 (22)	408 (486)	260 (149)	2,257 (1,612)
合計	448 (363)	9,080 (9,229)	50 (91)	2,058 (4,103)	498 (454)	11,138 (13,332)

(2) 駐車場利用調整会議

開催日：毎月末

参加者：県社協(総務・企画情報部、あすぴあおおいた)、県母子・父子福祉センター、管理室(株)メンテナンス

内 容：翌月の総合社会福祉会館全体の駐車場利用見込みを把握の上、日単位での臨時駐車場確保の可否を検討

(3) エレベーター改修工事

耐用年数を超過しており、運用の安全性を確保するために、日本財団の助成を受け、共用部エレベーター2基の更新工事を行った（令和3年12月～令和4年3月）。

4 民間社会福祉施設従事職員の福利厚生

(1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業

①民間社会福祉施設職員退職共済事業の実績（R4. 5. 26 現在）

	令和2年度	令和3年度
加入者数	9,938人	10,014人
給付人数	947人	1,035人
給付金額	760,916,638円	920,507,121円

②大分県民間社会福祉施設職員退職共済事業 運営委員会の開催

期 日 令和4年2月1日（火）
 場 所 大分県総合社会福祉会館 3階中研修室
 出席者 委員7人
 内 容 ①令和3年度決算及び資産運用状況の報告について
 ②令和3年度事業実績及び令和4年度当初予算案について
 ③規程改正について

(2) 民間社会福祉施設互助共励事業

①民間社会福祉施設互助共励事業の実績（R4. 5. 26現在）

給付金種類	令和2年度		令和3年度	
	人数（人）	金額（円）	人数（人）	金額（円）
弔慰金	8	280,000	9	270,000
傷病手当金	20	280,000	11	160,000
結婚祝金	178	2,670,000	145	2,175,000
出産祝金	257	3,855,000	277	4,155,000
入学祝金	247	4,940,000	252	5,040,000
脱退一時金	104	11,394,390	112	11,680,703
災害見舞金	6	130,000	0	0
合 計	820	23,549,390	806	23,480,703

広報・啓発推進班

本会における情報発信のツールとして、広報誌「だいふく」を2回（令和3年9月、令和4年3月）発行し、会員等に配布した。

また、ホームページやSNSでリアルタイムな情報を昨年より多く発信することで、ホームページの閲覧数が増加した。

	令和2年度	令和3年度
ホームページ1か月平均閲覧数	8,133	8,801

地域福祉部（地域福祉部・あんしんサポートセンター）

地域福祉部

地域共生社会の実現に向けて、市町村における包括的な支援体制を一層推進していくために地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会の基盤強化や役職員の資質向上、関係機関の人材育成及び地域に根ざした活動を展開する地域住民及び関係団体等を対象とした各種支援の取り組みを実施した。

また、関係者・関係機関、企業・団体等とともに子どもたちの成長を応援する輪を広げ、多世代の居場所づくりの推進と運営支援を行うことで、孤立防止に向けた地域への参加機会の確保を図った。

さらに、生活困窮、ひきこもりの方の就労に係る課題に対応した取り組み、地域における総合的な権利擁護支援体制を構築していくための日常生活自立支援事業の実施及び中核機関、権利擁護センター等を対象とした各種事業を実施した。

1 市町村社会福祉協議会の運営や活動強化に向けた支援

社協が取り組む地域福祉の推進と社協基盤の確立強化を図るため、当面する課題についての調査研究を行い、人材育成のための取り組みを実施した。

(1) 地域福祉推進委員会の開催	第1回	7月16日(金)
	第2回	2月15日(火)

(2) 部会の開催

①法人経営・制度政策研究部会	第1回	8月24日(火)
	第2回	3月3日(木)
②地域・在宅福祉推進事業等研究部会	第1回	8月23日(月)
	第2回	3月7日(月)
③災害福祉支援研究部会	第1回	7月21日(水)
	第2回	1月17日(月)

(3) 企画・作業部会等の開催

①我が事・丸ごと地域共生社会の推進に向けた研究企画部会	第1回	5月20日(木)
	第2回	7月9日(金)
	第3回	1月27日(木)
②日常生活自立支援事業担当者作業部会	第1回	6月25日(金)
	第2回	書面審議(2月)

(4) 役職員の資質向上を目的とした会議・研修会の開催

会議・研修名	期日	会場	内容	参加者
市町村社協新任職員研修会	5月7日 (金)	県社会福祉 介護研修セ	1) 講義 I 「社協ってなに? ~社会福祉協議会で働くこと」	53人

		ンター・オンライン	2) 講義Ⅱ「社会福祉協議会の使命と活動に必要な視点」	
市町村社協課長・係長研修会	12月20日 (月)	オンライン	1) リーダーシップとフォロワーシップ、求められる危機管理	26人
我が事・丸ごと地域共生社会推進人材養成研修会	7月9日 (金)	県総合社会福祉会館及びオンライン	<第1クール> 1) 講義「地域共生社会の推進に向けた重層的支援体制の展開」 厚生労働省 2) 講義「大分県の動向」 大分県福祉保健企画課 3) 講義・ワーク「地域共生社会の実現に向けた現状と課題の把握」 県社協・研究企画部会	70人
	8月3日 (火)	県総合社会福祉会館	<第2クール(地域力強化推進員コース)> ・講義・ワーク「地域福祉の動向・地域づくりの手法」 関西学院大学人間福祉学部	36人
	9月3日 (金)	県総合社会福祉会館及びオンライン	<第2クール(相談支援包括化推進員コース)> 1) 講義「地域共生社会の実現に向けた庁内連携・多機関協働の必要性」 立教大学コミュニティ福祉学部 2) ワーク「個別事例から考える、個別事例から地域の取組みを考える」 県社協	22人
	9月～ 11月	県内 6ブロック (下記参照)	<第3クール(ブロック別研修、各会場共通)> 1) 「わがまちの地域共生社会をふりかえる」 2) 「わがまちの地域共生社会の実現のために必要なこれからの取組を考える」 県社協・研究企画部会	
	9月14日 (火)	県総合社会福祉会館	対象: 大分市、由布市	17人
	10月15日 (金)	別府市社会福祉会館	対象: 別府市、杵築市、日出町	15人
	10月22日 (金)	佐伯市さくらホール	対象: 佐伯市、臼杵市、津久見市	14人
	11月2日 (火)	竹田市総合社会福祉センター	対象: 竹田市、豊後大野市	24人
	11月16日 (火)	豊後高田市役所	対象: 宇佐市、豊後高田市、国東市、姫島村	14人
	11月29日 (月)	日田市役所	対象: 日田市、中津市、玖珠町、九重町	21人
	2月18日 (金)	県総合社会福祉会館及びオンライン	<第4クール)> 1) 講義「地域共生社会の実現に向けて」 九州厚生局 2) 実践発表「わがまちがめざす地域共生社会」 研修参加者	47人

市町村社協常務理事・事務局長研究協議会	2月15日 (火)	県総合社会福祉会館及びオンライン	1) 社会福祉協議会の活動とこれから 大分県社会福祉協議会 事務局長 2) 社協の地域福祉活動とファンドレイジング 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 3) 取組報告 杵築市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 4) 研究協議 事前提出議題に基づいた研究協議	26人
市町村新任職員フォローアップ研修会	3月 4日 (金)	県総合社会福祉会館及びオンライン	1) 新任職員フォローアップ～ふりかえり、チームとして必要となる意識や行動とは アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社	31人
ファンドレイジング研修会	12月10日 (金)	オンライン	1) 社協の地域福祉活動とファンドレイジングの基礎知識	15人
	1月12日 (水)	オンライン	1) ファンドレイジング実践事例とロジックモデルの考え方	15人
	1月28日 (金)	オンライン	1) 社会的インパクト志向の地域福祉活動の作り方	12人

(5) 市町村社協研修支援事業の実施

市町村社会福祉協議会職員等の資質向上並びに組織力の強化を図るため、市町村社協が希望する研修内容に対応し、講師及び職員の派遣を行った。

実施回数 10回

日程	会場	内容	参加者
4月20日(火)	九重文化センター	① 玖珠郡権利擁護センター設置に向けたこれまでの経緯について ② 県内の法人後見事業実施社協の現状	7人
5月18日(火)	佐伯市社会福祉センター	コミュニケーション、チームワークとリーダーシップ、クレーム対応	10人
6月15日(火)	くすまちメルサンホール	中津市社協の法人後見事業の取り組み	25人
6月24日(木)	別府市社会福祉協議会	社協が行う情報発信の効果とリスクについて	15人
7月 9日(金)	臼杵市社会福祉センター	チームワークとリーダーシップ	10人
9月11日(土)	臼杵市社会福祉センター	市民後見人養成講座(日常生活自立支援事業)	10人
10月 2日(土)	日田市総合保健福祉センター	市民後見人養成講座(日常生活自立支援事業)	20人
10月16日(土)	竹田市総合社会福祉センター	市民後見人養成講座(日常生活自立支援事業)	14人
10月26日(火)	くにさき総合文化センター	市民後見人養成講座(日常生活自立支援事業)	8人
11月 9日(火)	くすまちメルサンホール	社協の役割	52人

(6) 市町村社会福祉協議会の現況調査の実施

市町村社会福祉協議会相互の連携強化、情報交換等に資することを目的として、現況調査を実施し、とりまとめのうえ各社協への情報提供を行った。

(7) 社協職員連絡協議会の運営支援

社協職員の資質向上と情報交換を目的に組織された「大分県市町村社協職員連絡協議会」の運営支援を行った。

①総会の開催

期 日 令和3年7月30日（金）

場 所 大分県総合社会福祉会館、オンライン

②研修会等への支援

ファンドレイジング研修及び新任職員フォローアップ研修を共催実施するとともに、令和3年度九州ブロック地域福祉研究会議（1月13日（木）～14日（金））における参加費助成等を実施した。

(8) 市町村社協事業・行事への支援

市町村社協主催の社会福祉大会等への出席

別府市（10月22日）、杵築市（11月5日）、由布市（11月25日）

(9) 善意銀行を通じた社協等への物品等の配分

寄 贈 者	品 目	配 分 先 社 協 等
大分みらい信用金庫	お米、お米券	県内6市1町52ヵ所の子ども食堂
日産プリンス大分販売株式会社・労組	介護用ベッド	佐伯市、臼杵市、豊後大野市
一般社団法人生命保険協会大分県協会	福祉車両	大分市、日出町
JAIFA 大分県協会	寄付金	大分県内の子ども食堂
大分教区仏教婦人会連盟	車いす	中津市、日田市、国東市

(10) 情報提供

全社協などの中央情報・資料等を随時メール配信した。

2 住民や福祉関係者等による地域福祉活動の推進支援

誰もが安心して心豊かに生活できる地域社会を創出するため、住民が地域において役割と生きがいをもち、支え合う関係を築くことで地域の福祉力を高めることを目的とした事業を行った。

(1) 大分県地域福祉推進大会の開催

地域福祉の全県的な推進を啓発する大会として「第16回大分県地域福祉推進大会」を開催するとともに、県社協会長表彰・感謝状の授与を行った。

①大会実行委員会

期 日 書面審議（8月）

②第16回大分県地域福祉推進大会

期 日 令和3年10月13日（水）

場 所 別府ビーコンプラザ

内 容 表彰式典、意見発表 ※大会資料への掲載

参加者 380人

(2) 生活困窮者自立支援制度への対応・支援

県内における自立相談支援事業担当者等が互いの理解と連携を深め、本事業利用者に係る自立促進の視点から、課題や情報の共有を図り円滑な相談事業の実施と本事業を通じた地域福祉の増進に資することを目的に実施した。

①自立相談支援事業等担当者連絡協議会の運営

第1回連絡協議会（新任職員研修）

実施日 令和3年5月26日（水）

場 所 大分県社会福祉介護研修センター

参加者 13人

内 容 講義、事業説明、演習（グループワーク）

第2回連絡協議会（担当職員等研修）

実施日 令和3年12月14日（火）

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 24人

内 容 講義、（企業との）意見交換

第3回連絡協議会（担当職員等研修）

実施日 令和4年1月31日（月）

場 所 オンライン

参加者 17人

内 容 講義、演習

②就労訓練・就労体験等受入先（企業、法人等）拡大に係る取組み

協力企業の開拓等に取り組む際には、1企業につき3万円を助成（就労体験、就労支援等に係る工賃等）

③寄贈物品（ランドセル）の配分

寄贈のあったランドセルについて自立相談支援機関からの希望に応じて、社協等へ配分を行った。

3 子ども食堂・多世代交流の居場所づくりの推進・普及に向けた取組み

子ども支援に関するネットワークを運営するとともに、子ども食堂・多世代交流の居場所づくりの推進を図り、関係者・関係機関、企業・団体等との連携に努めることで継続的な運営支援を行った。

※県内の子ども食堂数 89か所（令和4年3月31日現在）

(1) おおいた子ども食堂ネットワークの運営

①おおいた子ども食堂ネットワーク企画推進部会

実施日 令和4年3月23日（水）

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 10人

②子育て環境ブロックセミナー

実施日 下記日程のとおり

対象者 県内の子ども食堂運営者及び支援者、民生委員・児童委員(主任児童委員)、PTA連合会、自治会長会、ボランティア連絡協議会、母子寡婦福祉会、社会福祉協議会、教育委員会(SSW)、行政担当課等

内 容 「フリースクールにおける子ども支援の実践」

講師 一般社団法人みんなの学校 代表 戸高 諒 氏

「伝える、人とつなぐ～SNS、レターによるコミュニケーション」

講師 Caboosu (カボース) 代表 幸野 寛 氏

日 程	会 場	対象地域	参加者
8月25日(水)	さいき城山さくらホール	佐伯市、津久見市、臼杵市	60人
9月29日(水)	くにさき総合文化センター	国東市、杵築市、姫島村	43人
10月20日(水)	パトリア日田	日田市、九重町、玖珠町	70人
11月 4日(木)	別府ビーコンプラザ	別府市、日出町、由布市	51人
11月11日(木)	大分県総合社会福祉会館	大分市	126人
11月18日(木)	宇佐文化会館	中津市、宇佐市、豊後高田市	67人
12月 7日(火)	竹田総合文化ホール	竹田市、豊後大野市	44人

③食でつながるフェスタin福岡（実践報告）

参加日 令和3年10月23日（土）

場 所 福岡商工会議所ビル

内 容 おおいた子ども食堂ネットワークの実践報告等

④第5回九州沖縄のこども食堂がつながる研修会in福岡（実践報告）

参加日 令和3年12月18日（土）～19日（日）

場 所 筑紫女学園大学

内 容 大分県における子ども食堂の実践報告等

⑤特定非営利活動法人全国こども食堂支援センターむすびえ

全国の取り組み（お宝）共有プロジェクトへの参画

参加日 令和3年7月～3月（全9回）

場 所 オンライン

内 容 全国の中間支援団体やむすびえとの情報共有、実践報告及び各種協議等

⑥九州沖縄こども食堂「食」の連携事業に係る協議

全国・九州を対象とした寄付物品の輸送ルート及び受入・配分方法について、特定非営利活動法人チャイルドケアセンターとの協議（随時）。

（2）研修・セミナー等の開催

子ども食堂の運営者や支援者を対象に、防災、障がいの理解及び新型コロナウイルス感染対策等を内容として実施した。

①第1回子ども食堂運営者・支援者研修会

実施日 令和3年6月17日（木）

場 所 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参加者 51人

内 容 講義・演習「子ども食堂の防災」「災害が起きたらどうする」

- ②子ども食堂・多世代交流の居場所づくりのための「感染症対策セミナー」
 実施日 令和4年2月28日（月）
 場 所 オンライン及び動画配信、大分県総合社会福祉会館
 参加者 28人
 内 容 「感染症対策の正しい理解～とんとんとん食堂（佐伯市）の取り組みから」
- ③第2回子ども食堂運営者・支援者研修会
 実施日 令和4年3月2日（水）
 場 所 大分県社会福祉介護研修センター
 参加者 47人
 内 容 「障がいの理解と支援～発達障がいのある子どもとかかわる」
 「コロナ禍での子ども食堂～子どもたちの笑顔のために」
 「情報交換」

（3）子ども食堂の運営状況調査の実施

子ども食堂相互の情報交換、支援を希望される者・企業等と子ども食堂とのマッチングを適切に行うこと等を目的として、子ども食堂運営状況調査を随時実施した。

（4）子どもの居場所（食堂）の活動支援、普及・啓発

食堂見学希望者と食堂とのマッチング、子ども食堂立ち上げ相談支援、子ども食堂運営支援、子ども食堂への寄付希望者からの申し出等に対応した。

①子ども食堂立ち上げ相談会の開催

第1回	令和3年6月10日（木）	6人
第2回	令和3年7月8日（木）	4人
第3回	令和3年8月5日（木）	4人
第4回	令和3年8月12日（木）	1人
第5回	令和3年9月7日（火）	8人
第6回	令和3年9月18日（土）	8人
第7回	令和3年10月29日（金）	8人
第8回	令和3年11月12日（金）	8人
第9回	令和3年11月16日（火）	1人
第10回	令和3年12月2日（木）	37人
第11回	令和3年12月22日（水）	18人

②社会福祉法人による「子どもの居場所づくり」研修会

実施日 令和4年1月31日（月）
 会 場 オンライン
 参加者 15人
 内 容 「子ども食堂を取り巻く現状と活動状況について」
 すみれ学級、別保子ども食堂
 「社会福祉法人が取り組む子ども食堂について」
 児童家庭支援センター「和」やわらぎ

③「子どもたちの居場所づくりハンドブック」の作成

「子ども食堂を立ち上げたい」「居場所づくりについて考えたい」という希望に

対して、子ども食堂を立ち上げる際の参考資料として作成し、立上げ相談時などで活用した。

④子ども食堂立上げ相談支援、見学マッチング、運営者等個別相談対応

個別相談対応件数	1,424件
新規立ち上げ相談	66件
新規立ち上げ同行訪問	6か所
食堂見学希望者への食堂紹介	10か所

⑤スーパーバイザー派遣事業の実施（大分県社会福祉士会との連携事業）

大分県社会福祉士会と連携して、地域の子ども食堂運営者等に対して、運営や利用者への対応、職場内研修等について専門的な立場からの助言等が必要な場合にスーパーバイザーを派遣する仕組みをつくった。

⑥子ども食堂応援に係るクラウドファンディング等事業の配分

- ・大分県のクラウドファンディング事業に係るホームページ掲載素材等の提供
- ・子ども食堂活動状況調査
- ・活動状況調査に基づく配分金額の確定と配分手続きの実施

⑦寄付等の相談対応・マッチング

コロナ禍の影響で苦しむ子どもたちを支援したいと「子ども食堂」への資金、物品の提供が多く、支援を希望する者・企業等とマッチング活動を実施し、随時配分活動を行った。また、おおいた子ども食堂応援自動販売機を設置した。

令和3年度子ども食堂へ寄付のマッチング件数：17件

⑧「思い出サンタ お菓子の家 プロジェクト」への協力

祝祭の広場（大分市）に設置されるお菓子の家（12月18日（土））に係る企業等からの寄付物品（お菓子）の受入、学生ボランティア等との袋詰め及び搬出に係る協働作業など運営協力を行った。

⑨助成金等情報提供

各種助成金の情報提供・申請支援 36件

（5）子ども食堂・おおいた子ども食堂ネットワークの広報並びに情報提供

①リーフレット・チラシ等の配布

②メルマガ（毎月1回）・ホームページ（令和3年度リニューアル）及びFacebookを随時更新

③パネル展示（10月14日（木）（加藤登紀子チャリティーコンサート））

5 大分県民生委員児童委員協議会の運営や活動強化に向けた支援

地域社会における住民同士の支え合いや安全・安心の確保が求められるなか、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見し、行政や専門機関へつなぎ、その他福祉サービスの利用や支援につなぐ役割を担う民生委員・児童委員に対し、県民児協事務局として各種事業支援を行った。

（1）各種会議、委員会の開催

①正・副会長会議の開催（計5回）

②理事会の開催（計3回）

③各専門委員会の開催

- ア 総務委員会（計1回）
- イ 児童福祉推進委員会並びに主任児童委員連絡会合同会議（計2回※1回は文書審議）
- ウ 地域福祉推進委員会・調査研究委員会合同会議（計1回※文書審議）
- エ 広報紙編集委員会（計9回）

（2）県内研修会等の企画・実施

- ①単位民生委員児童委員協議会会長研修会（参加者167人）
- ②大分県地域福祉推進大会（再掲）
- ③中堅民生委員児童委員研修会（参加者160人）
- ④新任民生委員児童委員研修会（参加者26人）
- ⑤民生委員・児童委員の相談に関する研修会（YouTube動画限定配信により実施）
- ⑥主任児童委員研修会（YouTube動画限定配信により実施）
- ⑦子育て環境ブロックセミナー（再掲）
- ⑧民生委員・児童委員ブロック別研修会（県内9会場 ※内4会場は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- ⑨災害に備える民児協活動研修会（参加者6人）

（3）市町村社協事業との連携

- ①生活困窮者自立支援制度等、各種相談援助事業への協力
- ②子どもの居場所づくり推進事業への協力
- ③成年後見利用促進事業への協力
- ④生活福祉資金等貸付事業への協力、長期滞納世帯などの状況把握への協力
- ⑤法律巡回相談の実施
実施か所：10か所、相談者数：61人（相談件数：59件）

（4）市町村民児協組織の整備と活性化支援

- ①指定民生委員児童委員協議会育成事業の実施（1単位民児協×6万3千円）
 - ア 日出町民生委員児童委員協議会
- ②民児協活動強化推進事業の実施（大分市東植田校区民児協）
- ③地域版活動強化方策作成への支援（中津市民児協、別府市民児協、由布市挾間町民児協）
- ④市町村民児協主催研修会への講師派遣
- ⑤児童委員活動強化推進方策助成事業の実施（1か所×4万円）
- ⑥新型コロナウイルス感染拡大防止のための情報提供
- ⑦福祉票の整備と活用、民生委員手帳の販売
- ⑧関係機関・団体との連絡調整

（5）全国及び九州ブロック会議・研修会等への参加

- ①全民児連評議員会（計4回 リモート出席）
- ②全民児連評議員セミナー（災害に備える民児協活動研修会）（再掲）
- ③全国民生委員互助共励事業運営委員会（計3回 リモート出席）
- ④全国民生委員互助共励事業公務審査委員会（計5回 文書審議1回 リモート4回）
- ⑤全国民生委員互助共励事業専門委員会（計2回 リモート出席）

- ⑥都道府県・指定都市児協事務局会議（計2回 WEB開催）
- ⑦全国民生委員・児童委員大会（京都府※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により欠席）
- ⑧全国児童委員活動研修会（YouTube動画限定配信、情報交換会2人参加）
- ⑨民生委員・児童委員リーダー研修会（YouTube動画限定配信）
- ⑩九州ブロック民生委員児童委員関係事業会議（熊本県※書面協議）

（6） 互助事業等の実施

- ①慶弔事業の実施
- ②退任記念品料給付事業の実施
- ③傷病見舞金給付事業の実施
- ④全国互助事業給付の実施
- ⑤民生委員・児童委員活動保険への一括加入

（7） 各種表彰の実施並びに、受賞記念品料給付事業の実施

- ①全国民生委員児童委員連合会会長表彰
- ②九州社会福祉協議会連合会会長表彰
- ③厚生労働大臣表彰
- ④全国社会福祉協議会会長表彰
- ⑤大分県社会福祉協議会会長表彰
- ⑥大分県知事表彰
- ⑦大分県民生委員児童委員協議会会長感謝状
- ⑧叙勲

（8） 広報活動及び情報提供等

- ①広報紙「大分県民児協だより『愛』」の発行（年2回）
- ②民生委員・児童委員の日 活動強化週間の実施
- ③民生委員・児童委員活動PR資材（ポケットティッシュ、PRチラシ、PRカード）の提供
- ④児童委員活動の手引き47集の配付

6 関係団体との連携、支援

（1） フードバンクおおいた、大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会等との連携

生活困窮者等に対する相談支援の活性化を図るため、フードバンクおおいた及びおおいたくらしサポート事業との連携した活動を進めた。

（2） 県共同募金会との連携

募金活動及び配分についての意見の提示、情報提供等を行った。

あんしんサポートセンター

日常生活自立支援事業を推進し、福祉サービス利用者の権利擁護に努めた。

1 日常生活自立支援事業の推進

(1) 相談受付件数及び契約・解約の状況

①相談受付の状況（令和3年4月～令和4年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	806件

②契約締結の状況（令和3年4月～令和4年3月末）

契 約	締 結	解 約	合 計
	①	②	①－②
	272件	200件	72件

【累計】

①相談受付の状況（平成11年10月～令和4年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	7,655件

②契約締結の状況（平成11年10月～令和4年3月末）

契 約	締 結	解 約	現在締結件数
	①	②	③（①－②）
	3,565件	2,547件	1,018件

(2) 大分県契約締結審査会の開催

当審査会は、およそ3か月に1回を基本に開催し、生活支援員による支援や利用者の判断能力に疑義が生じた案件等について諮った。

開 催 日	審査件数
令和3年5月20日(木)	1件
令和3年8月26日(木)	0件
令和3年12月6日(月)	0件
令和4年2月17日(木)	書面審議
合 計	1件

(3) 現物調査の実施

日常生活自立支援事業を適正に実施するため、18市町村社協にて調査を実施し、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス等関係書類の確認を行った。

(4) 関係機関との連携

書面によって関係機関連絡会議を開催し、日常生活自立支援事業に係る理解促進に努めた。

(5) 会議・研修会の開催

各種研修活動等を通じ、県社協職員及び市町村社協職員の資質向上に努めた。

また、事業実施体制の充実を図るため事業担当職員連絡協議会を開催し、事業実施

について協議を行った。

①日常生活自立支援事業新任担当職員研修会

期 日 令和3年6月11日（金）

会 場 大分県総合社会福祉会館

参加者 14人

内 容 講義「日常生活自立支援事業の概要、専門員の役割・実務」、演習

②生活支援員等事業関係職員研修会

期 日 令和4年2月28日（月）

会 場 大分県総合社会福祉会館、オンライン

参加者 76人

内 容 講義「知的障がいに関する理解と支援について」

社会福祉法人博愛会 パルクラブ 施設長 赤嶺光徳 氏

③日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 令和4年3月17日（木）

会 場 オンライン

参加者 16人

内 容 令和3年度事業進捗状況報告

令和4年度事業計画（案）について

意見交換・情報交換

（6）実施体制強化に向けた活動

各市町村社協における日常生活自立支援事業の実態体制状況調査とともに、補助金に関する要望活動等を行った。

①市町村社会福祉協議会への実施体制状況の聞き取り

②都道府県・指定都市に係る実施体制状況の確認

③市町村社会福祉協議会実施体制状況調査の実施

④大分県への要望書の提出等要望活動の実施

（7）各種会議・研修会等への出席

①津久見市家事関係機関打合せ

②玖珠郡権利擁護センター設置検討会

③玖珠郡成年後見制度利用促進事業打合わせ

④玖珠郡家事関係機関打合せ

⑤日出町家事関係機関打合せ

⑥家事関係機関連絡会議

（8）権利擁護事業の普及・啓発

①パンフレットの配布

各市町村社協、県・市町村行政、社会福祉施設、金融機関、医療機関、民生委員、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関にパンフレット等によって事業の周知を図った。

②各種研修会等での事業説明

市民後見人養成講座等において本事業の説明を行った。

開催日	会議・研修名称	市町村
9月11日	臼杵市社協市民後見人養成講座	臼杵市
10月2日	日田市市民後見人養成講座	日田市
10月16日	竹田市市民後見人養成講座	竹田市
10月26日	国東市市民後見人養成講座	国東市
11月1日	親なきあと相談員養成研修会	大分市

(9) 業務システムに関する対応

契約件数が増加していることへの事務負担軽減を目的として、平成27年11月末に導入した業務システムの運用に係る各種問い合わせに応じるとともに、適切な運用に係る入力作業等を行った。

2 権利擁護・成年後見制度の推進

(1) 権利擁護・地域生活定着支援セミナー

「地域共生を実現していくための繋がりと承認を考える」をテーマとし、本人理解と関係づくりに焦点を置きながら、実際の取り組みや支援の実情を理解し、実践につなげることを目的に実施した。

日 時 令和3年11月27日（土）

会 場 大分県総合社会福祉会館、オンライン

参加者 96人

内 容 「地域共生社会に向けたスモールステップ
～小さな目標から始めよう～」

大分大学 大学院福祉健康科学研究科長

福祉健康科学部 教授 相澤 仁 氏

「チームアプローチに対するスモールステップ～私たちができること」
(シンポジウム)

進行：大分大学 大学院福祉健康科学研究科長

福祉健康科学部 教授 相澤 仁 氏

シンポジスト：特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット

専務理事・事務局長 矢野茂生 氏

(2) 権利擁護専門人材育成研修の実施

権利擁護支援を担う中核機関、市町村、権利擁護センター職員等が必要な知識やスキルを習得すること、また、市民後見人養成講座を修了した方が、市民後見人にしか果たせない独自性や専門性を十分に発揮しながら地域における権利擁護の担い手として後見人活動を展開できることを目的に実施した。

研修名	期 日	会場	内 容	参加者
権利擁護専門 人材育成研修 (中核機関、市 町村、権利擁護 センター向け)	11月4日 (木)	県総合社会福 祉会館	1) 講義Ⅰ「成年後見制度の利用促進と市町村 の責務」 厚生労働省 2) 講義Ⅱ「大分県内の成年後見制度利用促進体 制について」 大分県 3) 講義Ⅲ「申し立て手続きのポイントについて」	35人

	11月15日 (月)	県総合社会福祉会館	大分家庭裁判所 4)情報交換 1)意思決定支援からの相談機能を考える 大分県社会福祉士会	36人
	12月9日 (木)	県総合社会福祉会館	1)受任調整機能(マッチング)の実際 臼杵市社会福祉協議会 臼杵市市民後見センター	38人
	12月16日 (木)	県社会福祉介護研修センター	1)中核機関等に求められる広報機能 2)後見人支援機能をどう進めるか 九州厚生局地域包括ケアシステムアドバイザー 3)研修のふりかえり、わがまちの体制整備に向けたステップを描く	31人
権利擁護専門 人材育成研修 (市民後見人養成講座修了者向け)	1月29日 (土)	オンライン、 県総合社会福祉会館	1)成年後見制度に関する情勢報告 大分県福祉保健企画課 2)市民後見人の実務について 大分県司法書士会	25人
	2月5日 (土)	オンライン、 県総合社会福祉会館	1)意思決定支援と対人援助技術 大分県社会福祉士会	30人

市民活動支援部

(ボランティア・市民活動センター、長寿いきいき班、フードバンクおおいた)

年度の大半がコロナ禍に見舞われたが、三密を避け、手指消毒や換気などの対策を講じオンラインや参加人数を抑制するなど、関係する研修、大会をできるだけ実施していく方向で事業を進めた。

福祉教育においては、地域に目を向け、学校も含め地域住民や企業・団体など対象を幅広く捉えた新たな事業を実践するための福祉教育推進員の養成研修を行った。

災害に関しては、本年度大きな自然災害による甚大な被害が発生しなかったことが幸いし、県内の社会福祉協議会、社会福祉施設、企業・団体等への災害支援のための人材養成及び育成の充実を図ることができ、併せてコープおおいたやライオンズクラブと災害時における相互応援協定を締結することができた。

5年前に立ち上げたフードバンクおおいたは、積極的な周知活動により、認知度が上がり家庭や企業から多くの食品をいただいた。特に、大手企業からの食品等寄贈が実現され、子ども食堂などへ提供することができた。さらに、ロータリークラブの支援により、生活に窮する外国人留学生への支援をNPO法人と協働してスタートさせた。

シニア世代の生きがいと健康づくりに資する豊の国ねんりんピックについては、大会規模が大きく、新型コロナウイルス感染症の拡大時期と重なったため、やむを得ず中止することとなった。

ボランティア・市民活動センター

1 ボランティア・市民活動の推進

(1) 大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

第1回 令和3年8月25日(水)

実施 書面による審議

- 内容
- 1) 委員長、副委員長の選任
 - 2) 令和2年度事業の実績報告について
 - 3) 令和3年度事業計画及び事業の進捗について
 - 4) 令和3年度福祉教育推進計画について

第2回 令和4年2月24日(木)

実施 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

- 内容
- 1) 令和3年度事業の実施状況について
 - 2) 令和4年度事業計画(案)について

(2) 市町村ボランティア・市民活動の支援

①市町村社協ボランティア担当者会議

市町村社協ボランティア担当及び地域福祉担当と合同で事業等に関する事業説明及び意見交換を行った。

第1回 令和3年4月22日(木)

場所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

- 参加者 ボランティア・地域福祉担当者 22人
 内 容 1) 令和3年度ボランティアセンター関係事業について
 2) 令和3年度夏のボランティア体験月間について
 3) 担当業務の振り返り(自己チェック)とグループディスカッション
- 第2回 令和3年12月6日(月)
 場 所 オンライン
- 参加者 ボランティア担当者 13人
 内 容 1) ボランティアセンター関係事業について
 2) 夏のボランティア体験月間の振り返り
 3) 情報交換

②市町村ボランティア・市民活動推進のための「出前講座」の開催

ボランティア活動や団体・組織の活動の活性化を図るために必要な研修等を開催するため講師を派遣する事業であり、都度周知を図ったが、コロナ禍でもあり実施要望はなく実績なし。

(3) 大分県ボランティア連絡協議会の運営支援

①大分県ボランティア連絡協議会理事会

- 第1回 令和3年4月30日(金)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 3階会議室
 内 容 1) 令和2年度事業報告及び決算について(監査報告)
 2) 令和3年事業計画(案)及び予算(案)について
 3) 令和3年度役員について
- 第2回 令和3年6月10日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 3階会議室
 内 容 1) 本会役員交代等について
 2) 総会の内容について
- 第3回 令和3年12月14日(火)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 3階会議室
 内 容 1) 本年度事業の実施状況及び予算について
 2) 今年度会費の取扱いについて
 3) 会則の改正について
- 第4回 令和4年3月18日(金)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 3階会議室
 内 容 1) 令和3年度事業報告及び決算見込について
 2) 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について
 3) 令和4年度総会・研修会について

②大分県ボランティア連絡協議会総会・研修会

- 期 日 令和3年6月10日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール
 参加者 26人(コロナ禍により人数制限)
 内 容 1) 総会
 ①令和2年度事業報告及び決算報告について
 ②令和3年度事業計画及び予算(案)について

2) 研修会

演題「新型コロナウイルス禍でのボランティア活動に向けて」
新別府病院感染管理対策室 認定看護師 稲田志信 氏

③ブロック別研修会（コロナ禍により人数制限）

内 容 講話Ⅰ「フリースクールにおける子ども支援の実践」
一般社団法人みんなの学校 代表 戸高 諒 氏
講話Ⅱ「伝える 人をつなぐ」
Cabooosu（カボース）代表 幸野 寛 氏

ア) 国東会場

開催日 令和3年9月29日（水）
場 所 くにさき総合文化センター アストくにさき アグリホール
参加者 杵築市 4人

イ) 日田会場

開催日 令和3年10月20日（水）
場 所 日田市文化会館 パトリア日田 小ホール
参加者 日田市、玖珠町、九重町 18人

ウ) 別府会場

開催日 令和3年11月4日（木）
場 所 別府ビーコンプラザ 国際会議室
参加者 日出町 4人

エ) 大分会場

開催日 令和3年11月11日（木）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 大分市 6人

オ) 宇佐会場

開催日 令和3年11月18日（木）
場 所 宇佐文化会館・ウサノピア 多目的ホール キレーナ
参加者 宇佐市、豊後高田市 10人

カ) 竹田会場

開催日 令和3年12月7日（火）
場 所 竹田市総合文化ホール グランツたけた 大ホール
参加者 竹田市、豊後大野市 12人 合計54人

④市町村ボランティア連絡協議会合同研修会

【1日目】“終活”を学ぶ研修会（リーダー研修会共催）

期 日 令和4年2月4日（金）
場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール及びオンライン（Zoom）
参加者 65人
内 容 講義「終活を考えてみませんか？～終活の必要性について～」
「エンディングノートの書き方」
講師 有限会社ヒューマック大分 代表取締役社長 牧 武浩 氏

【2日目】eスポーツ体験研修会（長寿社会開発機構助成金事業）

期 日 令和4年2月21日（月）
場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール及びオンライン

参加者 18人

内 容 講義、実技（ドローンサッカー）

⑤ボランティア全国フォーラム 2021

開催日 令和3年10月30日（土）～31日（日）

場 所 オンライン（Zoom）

参加者 10人

（3）ボランティア等の人材養成と育成

市町村社会福祉協議会等と連携を図り、地域のボランティア・NPO活動を推進するための研修会・講座等を開催した。

①ボランティアコーディネーター研修会

夏のボランティア体験月間を前に、コロナ禍でのボランティア受入れ体制や手順を学び、する側と受入側の両方が安心できるコーディネーション力の向上を図ることを目的に研修を行った。

開催日 令和3年6月18日（金）

場 所 大分県総合社会福祉会館3階中研修室 参加者9人

内 容 講義「コロナに負けない！ボランティアコーディネーション力」

講師 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
理事 小原 宗一 氏

②福祉ボランティアリーダー研修会

地域を支える福祉ボランティア活動の再活性化をめざすため、新たな活動への取り組み方や活動者自身のモチベーション向上、各地の活動事例等を情報交換することにより、今後の活動への意欲向上を図ることを目的に5日間の日程で開催した。

第1日 令和3年8月10日（火）

場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール

参加者 39人

内 容 講義「避難所体験を通じて防災を考えよう！」

講師 NPO法人レスキューサポート九州

第2日 令和3年9月6日（月）

場 所 大分スポーツ公園昭和電工ドーム

参加者 23人

内 容 講義「ノルディック・ウォークで健康力アップ！」

講師 NPO法人大分県ノルディック・ウォーク連盟

第3日 令和3年10月1日（金）

場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール

参加者 45人

内 容 講義「よりよい環境を築くための“アンガーマネジメント”を学ぶ」

講師 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会

アンガーマネジメントコンサルタント 米澤 有加 氏

第4日 令和3年10月15日（金）

場 所 こうざき公民館

参加者 45人

内 容 講義「脳トレ“シナプソロジー”を体験・習得しよう」

講師 国東市社会福祉協議会 国東支所長
シナプソロジーインストラクター 藤原 龍司 氏

第5日 令和4年2月4日(金)
場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール及びオンライン(Zoom)
参加者 65人
内 容 講義「終活を考えてみませんか?～終活の必要性について～」
「エンディングノートの書き方」
講師 有限会社ヒューマック大分 代表取締役社長 牧 武浩 氏

③学生等への講義(地域社会特講Ⅰ)

期 日 令和3年6月1日(火)
場 所 大分県立芸術文化短期大学大講義室及びオンライン
参加者 200人
内 容 1) 講義「困っている人々を支援する社会福祉協議会の存在意義と役割」
2) 質疑応答

(4) 福祉ボランティア専門研修

県内で活動している地域福祉活動団体に対し、より高い専門性を持った人材を育成することを目的に研修企画を公募し、目的に沿った団体に研修を委託した。

審査会 令和3年6月16日(水)

委託先 3団体(申請団体3団体、委託決定団体3団体)

団体名	研修内容	委託費
任意団体予防カフェ	要支援サポーター育成研修	300千円
NPO法人 福祉コミュニティ KOUZAKI	地域包括ケアシステム推進の担い手 専門研修	236千円
NPO法人 子育て応援ワクワクピース	学習や登校が苦手なこどもたちへの 支援研修	292千円

2 ボランティア・市民活動の啓発促進

(1) 第18回大分県ボランティア・NPO推進大会

コロナ禍におけるボランティア・NPOの状況や課題等を考え、互いに日頃から支えあうことができる元気な地域社会づくりを目指すため、住民一人ひとりのボランティア精神の醸成及びボランティア・NPO活動の活性化を推進し、今後の地域課題に対する市民活動の機運を醸成する目的で開催した。

期 日 令和3年11月29日(月)

場 所 J:COM ホルトホール大分3階大会議室及びオンライン

参加者 186人(会場54人+オンライン132人)

内 容 1) 基調講演
『コロナは避けてもココロは密に～つながり愛でこれからの地域づくり～』
2) 活動リレー発表
①大分銀行 フードドライブの取り組み
②今、私たちに出来ること ～食品ロス削減に向けて～
③災害時こそ、つながりの力

- ④小さな「恩送り」の輪を繋げるママを取り巻くヒト・モノ・コトのプラットフォーム
 - ⑤『必要とされる喜び』 子ども食堂ボランティアは元気の源
- 講師 1) 基調講演 mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 氏
- 2) 活動リレー発表
- ①株式会社大分銀行地域創造部 山口 寛志 さん
 - ②大分県立大分上野丘高等学校家庭部 若杉 咲希・西岡 美玲 さん
 - ③NPO 法人リエラ代表理事 松永 鎌矢 さん
 - ④大分のママ集まれ！九州のママ集まれ！ 本室 朝美 さん
 - ⑤別保子ども食堂（大分市） 松本 茂子 さん

(2) ボランティア・市民活動センター機能の充実

コーディネート等による情報発信を行った。

- ①ボランティアコーディネート及びボランティア・NPOからの相談受付 79件
- ②ボランティア・市民活動情報ホームページの更新
情報発信 46件、アクセス件数 66,011件
- ③ボランティア・市民活動ルーム利用管理
ボランティアグループ、市民活動団体に部屋の貸出し（5団体 33人）
- ④ボランティア保険受付業務
各種ボランティア保険の受付（活動保険 926人、行事用保険 211件、福祉サービス総合補償 18件）

(3) その他

パワフルシニア活動応援事業審査（県老連）

3 企業・団体のボランティア・市民活動支援

(1) 住民参加型在宅福祉サービス研修会 ※「福祉ボランティアリーダー研修会」と同時開催

先進団体を訪問し話を聞くことにより、住民による福祉サービス提供の取組みやそれを支えるための地域づくりの手法を学ぶことにより、今後の住民参加型（助け合い活動）提供につなげる地域づくりを目指すことを目的に開催した。

日時 令和3年10月15日（金） 13:30～15:30

場所 こうざき公民館 参加者 49人

演題 互いに敬い助け合う、支え合いの居場所づくりに向けて（みんなの家視察）

講師 NPO法人福祉コミュニティ KOUZAKI

(2) SDGs や社会貢献に向けた取組み支援

企業や団体が始めるフードドライブや子ども食堂の取組み等についての相談に対し、随時アドバイスや情報提供を行った。

4 福祉教育の推進支援

学生や社会人を対象に、これまでの福祉体験学習（体験・交流活動等）に加え、学びの機会をより有意義に成長させるため、地域で活動されている方（ゲストティーチャー）等の座学的な講話など、考える機会と合わせ備えた両輪での福祉教育の実践を進めた。

また、コロナ禍ではあったが、夏休みを中心に福祉施設等でのボランティア体験をとおしてボランティア活動の振興を図った。

(1) 夏のボランティア体験月間

期 間 7月21日～8月31日

ア) 参加者 487人

高校生305人、大学生等29人、小中学生150人、その他3人

イ) 参加施設数 89施設

4市社協が新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施

(2) 地域力が上がる福祉教育推進事業の実施

実施数及び参加者数

- | | |
|---------------|-------------|
| ・小学校 12回 325人 | ・中学校 1回 46人 |
| ・高等学校0回 0人 | ・計 13回 371人 |

(3) 福祉教育推進委員会

第1回 令和3年6月29日(火)

場 所 ファベルスペース

- 内 容
- 1) 昨年度の振り返りについて
 - 2) 福祉教育推進計画について
 - 3) 令和3年度の実践について
 - 4) 福祉教育担当者会議について

第2回 令和4年3月10日(木)

場 所 オンライン

- 内 容
- 1) 令和3年度の実践報告
 - 2) 令和4年度の実践計画
 - 3) 午後の担当者会議について

(4) 福祉教育担当者会議

第1回 令和3年6月29日(火)

場 所 ファベルスペース

参加者 19人

- 内 容
- 1) 趣旨説明
 - 2) 福祉教育推進計画について
 - 3) 地域力が上がる福祉教育推進事業について
 - 4) グループトーク、まとめ

第2回 令和4年3月10日(木) **(福祉教育実践発表会)**

場 所 オンライン

参加者 15人

- 内 容
- 1) 今年度の実践報告と令和4年度の実践計画(案)について
 - 2) グループワーク
 - ①今年度の実践を振り返って
 - ②グループ意見交換

(5) 全国福祉教育推進員研修

- 期 日 令和3年9月6日(月)
場 所 昭和電工ドーム会議室(全社協オンライン)
参加者 11人
内 容 1) 参考事例発表
2) グループ演習1・2
3) アドバイスシートの記入、まとめ

(6) 福祉教育推進のための啓発等

おおいた障がい者芸術文化支援センター、大分県障がい者体育協会へ取組説明及びゲストティーチャーの訪問調査を行った。

5 市町村災害ボランティアセンター及びネットワークの運営支援

(1) 災害救助事務費対象経費国庫負担のための協定締結に向けた取組み

① 令和3年度市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長会議

- 期 日 令和3年5月7日(金)
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール及びオンライン
内 容 重点事業説明(災害ボランティアセンター協定書締結について他)

② 調査及び情報提供

県内全ての市町村社協が、行政との新たな災害協定を締結できるよう、上記会議後に種々の関連資料等の提供を行った。

提供物 締結説明文、協定書ひな形、協定締結に関するQ&A、委託契約書ひな形・仕様書他各種様式

(2) 災害ボランティアセンターネットワーク協議会等の設置状況について

① 設置済み市町村

大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、由布市、日出町、玖珠郡(九重町・玖珠町)

② 未設置市町村の状況

- 豊後大野市：ネットワーク設置に向けて協議中。
12/27に訪問し、構築に向けた意見交換を行った。
(豊後大野市、豊後大野市社協、アイネス、県社協)
- 国東市：ネットワーク設置に向けて協議中。
12/15に訪問し、構築に向けた意見交換を行った。
(国東市、国東市社協、県東部振興局、アイネス、県社協)
- 姫島村：設置について検討中。

(3) 災害ボランティアセンター運営支援事業検討委員会(災害福祉支援研究部会)

- 第1回 令和3年7月21日(水)
場 所 大分県総合社会福祉会館3階研修室
内 容 1) 部会長及び副部会長の選任
2) 令和3年度事業計画及び事業推進状況報告について
3) 大分県災害ボランティアセンター運営マニュアルについて

- 第2回 令和4年1月17日(月)
 場 所 オンライン (Zoom)
 内 容 1) 令和3年度事業進捗報告について
 2) 第2回災害VC運営リーダー研修会について
 3) 大分県災害ボランティアセンター運営マニュアルについて 他

(4) 運営スタッフ研修会 (県内4ブロックにて開催)

会 場	期 日	場 所	参加者
日田会場 (日田市・九重町・玖珠町)	5月29日(土)	旧あまがせ保育園+オンライン	30人
臼杵会場 (臼杵市・津久見市・佐伯市・竹田市・豊後大野市)	6月20日(日)	臼杵市社会福祉センター大ホール+オンライン	56人
宇佐会場 (宇佐市・杵築市・中津市・豊後高田市・国東市・姫島村)	6月26日(土)	ウサノピア小ホール+オンライン	57人
大分会場 (大分市・別府市・由布市・日出町)	7月4日(日)	県総合社会福祉会館大ホール+オンライン	79人

- 内 容 1) 講演「災害時における多様な連携事例について」
 講師 NPO法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク
 代表 樋口 務 氏
 2) 活動報告「青年会議所の災害支援活動」
 報告者 一般社団法人日田青年会議所 富安 大二郎 氏
 活動報告「天ヶ瀬の復旧復興活動」(日田会場のみ)
 報告者 天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト代表 近藤 真平 氏
 3) グループワーク「災害支援活動をイメージした連携ワークショップ」
 ファシリテータ NPO法人リエラ代表 松永 鎌矢 氏

(5) 運営リーダー研修会

- 第1回 令和3年7月1日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館大ホール
 参加者 32人
 内 容 1) 基調講演「地域にいるからこそ出来る平時の備え」
 2) ワークショップ「災害時の資機材について学ぼう」
 第2回 令和4年3月3日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館大ホール
 参加者 41人
 内 容 1) 基調講演「被災者支援で大切なこと～南海トラフをはじめとする大規模災害に備えて～」
 2) 演習「今、災害が起きたらどうする？」
 3) 講義「地域での暮らしを取り戻す～ささえあいセンターの役割と必

要性～」

(6) 市区町村災害ボランティアセンター運営者研修

①由布市災害ボランティアセンター運営研修会

期 日 令和3年7月9日(金)
場 所 大分県立庄内屋内競技場
参加者 63人
内 容 1) 講義「災害ボランティアネットワークの重要性」
2) ワークショップ①「泥出しキットを使ったニーズ調査
ワークショップ②「水害時に必要な資機材ワーク」

②竹田市災害ボランティアネットワーク協議会研修会

期 日 令和3年10月29日(金)
場 所 竹田市総合社会福祉センター 保健指導室
参加者 52人
内 容 1) 講義「災害ボランティアセンターと関係機関との連携」

③玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会 (全社協モデル事業共催)

期 日 令和3年11月27日(土)～28日(日)
場 所 九重町保健福祉センター
参加者 107人(1日目61人、2日目46人(重複あり))
内 容 1) 講義「災害に関する基礎知識と心得」
2) 講義「災害VCに関する基礎知識と心得」
3) 演習「被災者の置かれている状況の理解と演習振り返り」
4) 講義「災害ボランティアセンターのしくみ」
5) 演習「災害ボランティアセンターのレイアウト検討」
6) 訓練・解説「各班の対応実演、対応解説」
7) 振り返り

④日出町災害ボランティアネットワーク研修会

期 日 令和3年11月30日(火)
場 所 日出町中央公民館
参加者 22人
内 容 講演「コロナは避けてもココロは密に～つながり愛でこれからの地域づくり～」

⑤別府市災害ボランティアネットワーク設立総会・研修会

期 日 令和4年1月25日(火)
場 所 別府市社会福社会館+オンライン
参加者 22人
内 容 講義「災害ボランティアネットワークの必要性について」

⑥臼杵市災害ボランティアネットワーク連絡会設立総会・研修会

期 日 令和4年1月25日(火)
場 所 臼杵市社会福祉センター 2階中会議室
参加者 13人
内 容 講義「臼杵市の防災対策の取組について」

(7) その他の活動

- ①生活協同組合コープおおいたと「災害時における相互協力に関する協定書」を締結（9月14日(火)）
- ②ライオンズクラブ国際協会 337-B 地区と「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」を締結（1月18日(火)）
- ③令和4年度大分川・大野川総合水防演習運営部会への出席（11月24日(水)、1月26日(水)）
- ④南海トラフ想定被災地における対策と災害情報利活用の意見交換会（10月29日(金)、1月13日(木)）

6 災害時要配慮者支援に関する取組み

災害時、生活困難に直面する要配慮者への支援強化を目的に、福祉施設職員等の専門職を災害派遣福祉チーム（DWAT）に登録し、発災後の支援のあり方や方法、情報共有等についての会議・研修会を開催した。

(1) 防災士キャリアアップ研修

- 期 日 令和3年5月22日（土）
場 所 別府市立別府中央小学校 体育館
内 容 避難所開設、避難者受入、避難生活環境整備(感染症対策)等の演習
※防災士とともにDCATメンバーによる派遣研修を行う予定と
していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

(2) 大分県災害福祉支援ネットワーク会議

①第2回大分県災害福祉支援ネットワーク会議

- 期 日 令和3年5月27日（木）
場 所 大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
参加者 56人
内 容 1) 災害派遣福祉チーム(DCAT)に関する課題について
2) 広域的な福祉避難所運営について
3) 災害時の構成員の役割について

②第3回大分県災害福祉支援ネットワーク会議

- 期 日 令和4年2月17日（木）
場 所 オンライン
参加者 49人
内 容 1) 前回の振り返り
2) DWATについて
3) 中長期的な災害福祉支援

(3) 大分県災害派遣福祉チームリーダー養成会議

- 期 日 令和3年9月21日（火）10:30～12:00
場 所 オンライン
参加者 77人
内 容 1) 大分県災害派遣福祉チームについて
2) 避難所の実際について（実践報告）

- 3) リーダー・サブリーダーの役割について
- 4) グループワーク

(4) 大分県災害派遣福祉チーム先遣隊検討会議

- 期 日 令和3年9月21日(火) 13:00~14:00
場 所 オンライン
参加者 51人
内 容 1) 先遣隊について
2) 先遣隊派遣の詳細について
3) 派遣に係る費用請求について
4) 意見交換

(5) 福祉避難所実務者研修

- 期 日 令和3年11月16日(火)
場 所 オンライン
参加者 162人
内 容 1) 基調講演
「福祉避難所開設と災害時要配慮者支援の基本と実際について」
2) 行政説明
「国ガイドラインの改定と大分県福祉避難所開設・運営マニュアルについて」
3) 実践報告「令和2年度 福祉避難所開設報告」
4) グループワーク「受け入れに関する課題の共有と対応策について」

(6) 災害派遣福祉チーム員養成研修

- 期 日 令和3年11月30日(火)
場 所 オンライン
参加者 63人
内 容 1) 行政説明「大分 DWAT の概要とマニュアルについて」
2) 基礎「災害時の福祉支援活動の実際～群馬県災害派遣福祉チーム(ぐんま DWAT) の活動～」
3) スキルアップ「ぐんま DWAT における要配慮者アセスメントについて」
4) アセスメント演習「避難所における要配慮者アセスメント」

(7) 災害派遣福祉チーム員派遣調整訓練

- 期 日 令和4年2月3日(木)
場 所 チャットワーク及びFAX等
参加数 32法人44施設
内 容 水害を想定し、災害発生時からDWAT派遣を行うまでの連絡に関する流れや派遣調整に関する通信環境等の確認などの模擬訓練を実施した。

(8) 福祉関係者に対するセミナー開催

日頃から高齢者等の要配慮者支援や見守りを行っている介護支援専門員や民生委員

等を対象に、発災時にも要配慮者の早期避難等を促す役割を担ってもらうことを目的に開催した。

開催 23回
参加者 2,162人

(9) 要配慮者に対する防災教室開催

要配慮者自身に早期避難の大切さを認識してもらい、要配慮者の被災リスクを下げるため、高齢者等が集うサロンやデイサービスの場を利用した意識啓発を図る防災教室を実施した。

開催 17回
参加者 540人

(10) 自主防災組織へのアドバイザー派遣

要配慮者が参加する防災訓練を、地域の自主防災組織で実施できるよう、アドバイザーを派遣した。

開催 9回
参加者 312人

(11) その他の活動

①個別避難計画作成モデル事業キックオフミーティングへの参加（6月15日(火)）

フードバンクおおいた

昨年度末に協定を締結したセブン-イレブン・ジャパンより、店舗等の改装時に発生する在庫商品の一部を数回にわたり寄贈いただくとともに、今年度、新規でフードドライブを実施する企業等からの寄贈があり、4月から毎週のように食料品等をご寄贈いただいた。

また、大分ロータリークラブからの申し出により、コロナ禍において県内で食事等に困っている大学や専門学校等へ通う留学生への支援として支援金をいただくこととなり、その資金を活用したフードパントリーを年5回開催した。

1 食品取扱量 [令和4年3月31日時点]

寄贈食品 40,926品 24.91トン
提供食品 38,573品 24.14トン

主な提供先：子ども食堂、市町村社会福祉協議会、くらしサポート事業実施施設、生活困窮者自立支援団体、災害復旧支援団体、子ども家庭支援センター、外国人留学生 等

2 留学生への支援

新型コロナウイルス感染拡大によってアルバイトの離職や仕送り減少などで生活に困っている外国人留学生に対し、食品や日用品の支援を行った。

第1回フードバンクマルシェ

期 日 令和3年7月19日(月)
場 所 J:COM ホルトホール大分 2階講義室
参加者 104人

第2回フードバンクマルシェ

期 日 令和3年9月17日(金)
場 所 別府APUプラザ(スパークル)
参加者 200人

第3回フードバンクマルシェ

期 日 令和3年10月30日(土)
場 所 祝祭の広場(おおいたワールドフェスタ 2021)
参加者 134人

第4回フードバンクマルシェ

期 日 令和3年12月18日(土)
場 所 別府APUプラザ(スパークル)
参加者 148人

第5回フードバンクマルシェ

期 日 令和4年3月9日(水)
場 所 J:COM ホルトホール大分 2階講義室
参加者 100人

3 フードドライブの周知・啓発

- ・大分ロータリークラブ ・コープおおいた ・株式会社大分銀行
- ・大分県教職員組合 ・農協 ・みどり調剤薬局 ・JA 大分中央会
- ・おてらおやつクラブ ・浄土宗 ・九電大分支店 ・九州電力新大分発電所
- ・日本女子テニス連盟大分支部 ・大分キャノンマテリアル ・ゆめマート日田店
- ・パラマウントベット ・セブン-イレブン・ジャパン ・第一生命株式会社
- ・ホームインプルーブメントひろせ ・TOTO アクアテクノ上野建設
- ・大分県信用保証協会 ・大分エルエヌジー株式会社 ・九州労働金庫大分支部
- ・イオン九州株式会社 ・大分県立大分上野丘高校家庭部
- ・ダイニングレストラン薔薇屋 ・大分県保育連合会 ・NHK 大分放送局
- ・城東地域包括支援センター ・大分ファミリー株式会社 ・きんでん九州支社
- ・第二杉の木園 ・農事組合法人アグリ宗方 ・株式会社エイチワン中津工場
- ・生長の家 ・明治安田生命株式会社 ・NTT 西日本・大分県手をつなぐ育成会
- ・社会福祉法人太陽の家 ・農機・農園後藤 ・各市町村社協 ・大分県庁 等

4 生活困窮者等緊急食料支援

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の基金を原資として、緊急食料支援の三日間セット(9食分)を市町村社会福祉協議会やくらしサポート事業実施施設等へ随時提供した(年末年始緊急食料支援等)。

5 広報啓発、その他

(1) 食品等贈呈式

フードドライブ等で集まった食品等をフードバンクへ寄贈いただく際に贈呈式を行い、併せてホームページ等に掲載（84回）するなど啓発に努めた。

(2) 関係機関・団体が実施する会議・催事等への参加

- ①大分県食品ロス削減推進協議会（10月8日(金)、3月24日(木)）
- ②大分市食品ロス削減推進計画策定委員会（6月4日(金)、10月1日(金)）
- ③おおいたワールドフェスタ 2021（10月30日(土)）

(3) 研修及び取材等への対応

- ①CSW研修（9月2日(木)）
- ②大分県立大分上野丘高校、大分県立杵築高等学校、県立大分芸術文化短期大学インタビュー
- ③報道関係の取材対応（随時）

長寿いきいき班

1 第32回豊の国ねんりんピック

例年、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため「豊の国ねんりんピック」を開催しており、5月に文化・芸術部門として、県立美術館で「美術展」「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」を開催予定であったが、県内の新型コロナウイルス感染者が急増したため、開催中止とした。

また、9月にスポーツ大会を開催する予定で事業を進めていたが、直前で新型コロナウイルスデルタ株の猛威により、すべての日程について中止した。

シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展は、県立美術館での展示は行わなかったが、誌上大会の開催と作品集の制作を行った。

(1) 第32回豊の国ねんりんピック関係団体打合せ会議

- 期 日 令和3年6月1日（火）
場 所 大分県総合社会福祉会館4階大ホール＋オンライン
参加者 40人（競技主管団体・市町村高齢者福祉主管課・県・県教委）
内 容 ①豊の国ねんりんピック開催要綱について
②総合開会式（選手宣誓等）について
③大会の実施又は中止の決定連絡について 等

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策実施についてのヒアリング

大会主管団体（17団体）ごとに、競技会場の設営や感染対策方法、必要な備品等についてヒアリングを行った。

- 期 日 令和3年8月10日（火）～13日（金）
場 所 大分県身体障害者福祉センター 2階視聴覚室

- 内 容 ①種目団体運営調査票の内容確認
②新型コロナウイルス感染症対策等

(3) 第 32 回豊の国ねんりんピックに係る最終打合せ会議

期 日 令和 3 年 9 月 1 日 (水)

場 所 昭和電工ドーム大分地下 2 階 212 会議室

参加者 新型コロナウイルス感染拡大により中止

(4) シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展の応募

部 門	短 歌	俳 句	川 柳	合計(点)
作品数	249	723	433	1,405

2 第 33 回全国健康福祉祭りふ大会への派遣

大会全体が新型コロナウイルス感染防止対策のため中止された。

※ぎふ大会は令和 7 年度第 37 回に開催延期となる。

3 ニュースポーツ用具の貸し出し

(1) 用具の貸出回数 30 回

(2) 延べ利用人数 784 人

用具一覧：①オーバーボール ②カラーリング ③グラウンドゴルフ ④輪投げ
⑤ゲーゴルゲーム ⑥じゃんけんペタンコ ⑦ストライクトレーナー
⑧スマイルボウリング ⑨ソフトペタンク ⑩ターゲットバードゴルフ
⑪バグジー ⑫ターゲットゲーム ⑬フリーブロー ⑭ペタンク
⑮ポケネット ⑯ヒットだ!ターゲット ⑰ボッチャ ⑱キンボール
⑲フライングディスク ⑳ビーンボウリング ㉑ビッグかんたん将棋
㉒ラダーゲッター ㉓囲碁ボール

4 高齢者生きがい健康づくり研修会

(1) e スポーツ体験研修会 (再掲)

期 日 令和 4 年 2 月 21 日(月)

場 所 大分県総合社会福祉会館 4 階大ホール及びオンライン

参加者 18 人

内 容 講義 1) ドローンについての基礎知識
2) 講師によるドローン操作のデモンストレーション
3) ドローンサッカー用小型ドローン「スカイキック」の操作体験
4) ドローンサッカーミニゲーム など

講師 株式会社エー・ディー・イー ドローン担当 吉田 慶吾 氏

福祉資金部

低所得者世帯や高齢・障がい者世帯に対し「生活福祉資金」の適切かつ迅速な貸付を行った。また、償還が遅延している世帯に対して、市町村社会福祉協議会や民生委員・児童委員を通じて世帯状況の把握に努めたほか、電話や戸別訪問による償還指導を行った。

なお、生活福祉資金制度の総合支援資金・緊急小口資金については、令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少等により、当面の生活費が必要な方に対し、特例措置として従来の低所得世帯の要件等を緩和し、国における累次の延長、拡充にも派遣職員を継続配置して対応するなどにより、必要な貸付を行い、累計ベースで令和4年3月31日現在、約2.7万件（総合支援資金（初回分）・緊急小口資金）、約151.6億円の貸付決定を行った。

また、緊急小口資金等の特例貸付における償還が令和5年1月から順次、始まることから、本会における債権管理や、貸付相談窓口での相談等を行う市町村社会福祉協議会の体制強化に向けた支援を一元的に担う組織の創設について検討を行い、令和4年4月から福祉資金部内に「特例貸付債権管理班」を創設することを決定した。

こうした取り組みの他、福祉人材の確保を目的に、一定期間、就労することで貸付金の返還が免除される「介護福祉士等修学資金」や「保育士修学資金」等の貸付を行うとともに、生活基盤の確保が困難な方の自立支援を目的に、一定期間、就労することで貸付金の返還が免除される「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」や「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」の貸付を行った。

1 生活福祉資金貸付事業の推進

(1) 借入申請・決定状況

①生活福祉資金

ア. 生活福祉資金

(単位：千円)

資金種類	申請		決定	
	件数	金額	件数	金額
1 総合支援資金	9,497	4,903,519	9,349	4,827,692
(1) 生活支援費	9,497	4,903,519	9,349	4,827,692
① 本則	8	7,654	8	6,617
② 特例貸付(初回分)	3,774	1,901,025	3,720	1,875,635
③ 特例貸付(延長分)	1,562	816,730	1,534	802,180
④ 特例貸付(再貸付分)	4,153	2,178,110	4,087	2,143,260
(2) 住宅入居費	0	0	0	0
(3) 一時生活再建費	0	0	0	0
2 福祉資金	4,107	784,413	4,039	772,060
(1) 福祉費	146	36,960	145	36,917
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	3,961	747,453	3,894	735,143
①本則	247	18,333	239	17,623
②特例貸付	3,714	729,120	3,655	717,520

3	教育支援資金	166	57,553	164	54,493
	(1) 教育支援費	80	33,008	79	30,269
	(2) 就学支度費	86	24,545	85	24,224
4	不動産担保型生活資金	2	8,803	1	5,968
	(1) 不動産担保型生活資金	0	0	0	0
	(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	8,803	1	5,968
合 計		13,772	5,754,288	13,553	5,660,213
(再掲) 特例貸付 計		13,203	5,624,985	12,996	5,538,595

イ. 臨時特例つなぎ資金 (単位：千円)

資金種類	申 請		決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
臨時特例つなぎ資金	1	100	1	100

(2) 資金種別償還率 (元本ベース) (単位：円・%)

資 金 種 類	償還計画額(A)	償還実績額(B)	償還率(B/A)
総合支援資金	212,470,234	17,180,157	8.09%
更生資金	55,104,147	3,133,638	5.69%
(障害者) 更生資金	21,190,700	620,460	2.93%
生活資金	0	0	0.00%
福祉資金	78,601,434	33,639,159	42.80%
福祉資金 (住宅)	10,230,640	512,690	5.01%
教育支援資金	122,639,554	29,307,711	23.90%
療養・介護等資金	628,650	372,130	59.20%
災害等援護資金	3,164,950	19,500	0.62%
緊急小口資金	115,574,762	31,264,676	27.05%
生活復興支援資金	1,604,414	148,750	9.27%
離職者支援資金	114,720,305	4,770,120	4.16%
不動産担保型生活資金	0	42,910,537	—
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	0	0	0.00%
合 計	735,929,790	163,879,528	22.27%

資 金 種 類	償還計画額(A)	償還実績額(B)	償還率(B/A)
臨時特例つなぎ資金	3,301,720	107,000	3.24%

※償還率 令和3年度に償還すべき金額 (償還計画額) に対する償還実績

(3) 制度周知

県社協のホームページをはじめ、広報用パンフレット等を配布し制度の周知に努めた。

2 生活福祉資金債権管理強化推進事業

滞納を続けている債務関係者に対する戸別訪問等による督促や、転居先の住民票請求による所在調査を実施した。

(1) 督促通知（年4回発行）

3ヶ月間連続して償還のない借受人等に対し、督促を送付した。

(2) 償還免除の実施状況

決定件数	30件
元 金	3,162,696円
利 子	71,308円
延滞利子	1,259,457円

3 生活福祉資金生活再建・償還相談事業

(1) 対象世帯（先）数

滞納が初期段階と概ね6か月以上滞っている世帯（先）を中心に実施。

(2) 取組内容

- 電話連絡による世帯状況の把握
- 通知書の発送による世帯状況等の把握
- 訪問による償還相談
- 面談による償還相談
- 誓約書等を提出した返済合意先の期日管理（電話、通知、再面談等）

(3) 償還相談、償還指導の取り組み

ア. 電話連絡	5,476件
イ. 通知書等発送	534件
ウ. 訪問（自宅等）	352件
エ. 面談（社協）	24件

(4) 取組実績（内容）

貸付先訪問や償還要請を書面により通知した。また、返済に関する合意又は誓約書等により回収した。

4 新たな貸付事業

(1) 各貸付制度の周知

県内の介護事業所、保育所、児童養護施設のほか、県・市町村、福祉関係機関・団体に対し、制度案内チラシや貸付の手引きを送付し周知した。

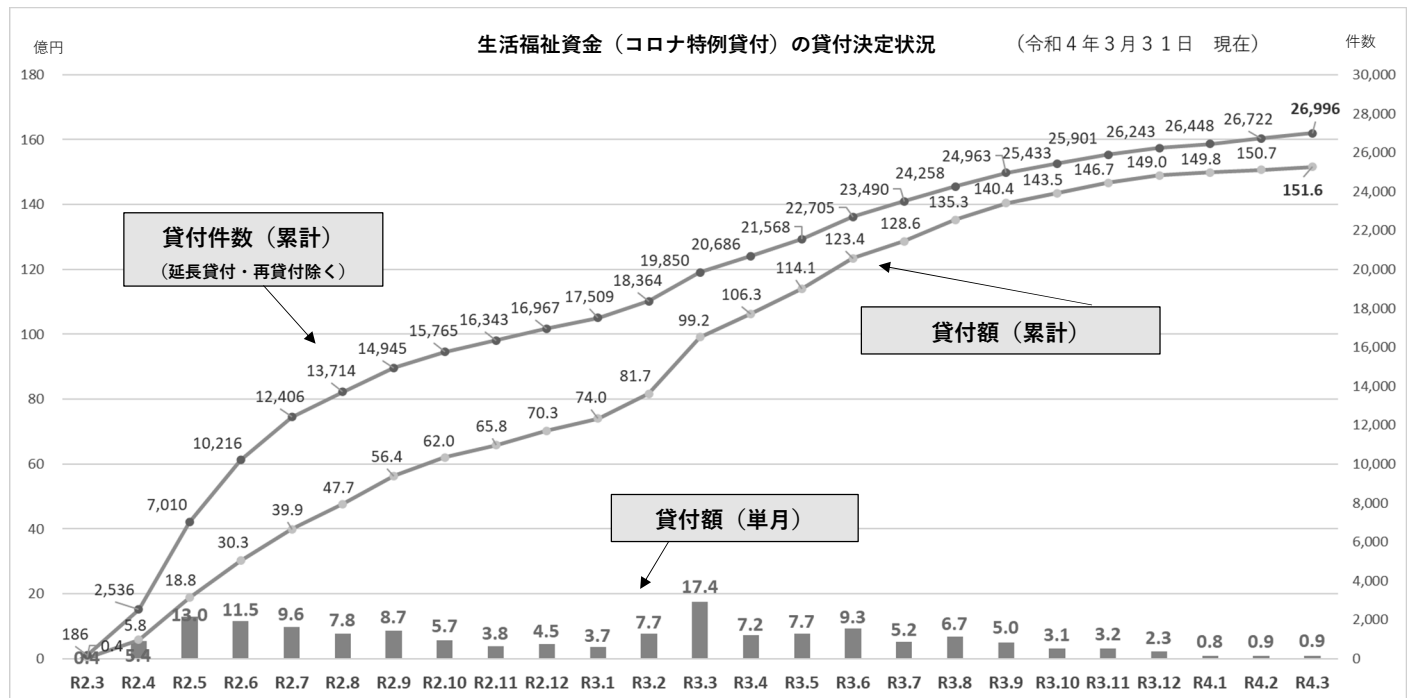
(2) 貸付決定件数・金額等

資金種類	募集人員	貸付件数	貸付決定金額
介護福祉士修学資金	—	32件	53,660,000円
社会福祉士修学資金	—	9件	9,300,000円
介護福祉士実務者研修受講資金	—	37件	7,304,690円
離職介護人材再就職準備金	—	15件	5,600,000円
保育士修学資金	150人	109件 ※うち決定後辞退3件	160,642,000円
保育士就職準備金	80人	39件	14,700,000円

児童養護施設退所者等に対する自立支援資金	—	生活支援 3件 家賃支援 2件 資格取得13件	4,800,000円 1,982,000円 3,250,000円
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	—	29件	13,200,000円
合 計	—	288件	274,438,690円

新型コロナウイルス特例貸付 申請状況

資金種別	内 訳	令和3年度末累計		令和4年4月		令和4年4月末累計	
		件 数	申 請 額	件 数	申 請 額	件 数	申 請 額
緊急小口資金	市町村社協受付分	14,622 件	2,862,410 千円	126 件	24,670 千円	14,748 件	2,887,080 千円
	ろうきん受付分	217 件	41,080 千円	0 件	0 千円	217 件	41,080 千円
	郵便局受付分	122 件	23,400 千円	0 件	0 千円	122 件	23,400 千円
	計	14,961 件	2,926,890 千円	126 件	24,670 千円	15,087 件	2,951,560 千円
総合支援資金	初回申請受付分	12,260 件	6,267,155 千円	109 件	52,590 千円	12,369 件	6,319,745 千円
	延長申請受付分	5,737 件	2,983,711 千円	0 件	0 千円	5,737 件	2,983,711 千円
	再貸付申請受付分	5,941 件	3,122,050 千円	0 件	0 千円	5,941 件	3,122,050 千円
	計	23,938 件	12,372,916 千円	109 件	52,590 千円	24,047 件	12,425,506 千円
合 計		38,899 件	15,299,806 千円	235 件	77,260 千円	39,134 件	15,377,066 千円



生活福祉資金特例貸付申請者の業種・就業形態について

「飲食」「タクシー」業従事者からの申請が4割程度を占める。

緊急小口資金・総合支援資金(初回)

職種別	件数	割合(%)
1 飲食	3,771	28.0
2 タクシー	1,297	9.6
3 建設	1,187	8.8
4 販売	632	4.7
5 ホテル	413	3.1
6 製造	301	2.2
7 運送	283	2.1
8 美容	250	1.9
9 接客	246	1.8
10 保険	208	1.5
11 代行	200	1.5
12 宿泊	188	1.4
13 コンビニ	187	1.4
14 清掃	183	1.4
15 塗装	182	1.4
16 介護	162	1.2
17 スナック	144	1.1
18 旅館	143	1.1
19 マッサージ	134	1.0
20 小売	129	1.0
21 農業	128	1.0
22 建築	119	0.9
23 漁業	104	0.8
24 土木	97	0.7
25 自動車	89	0.7
26 メンテナンス	88	0.7
27 警備	84	0.6
28 調理	81	0.6
29 エステ	80	0.6
30 解体	77	0.6

総合支援資金(延長貸付)

職種別	件数	割合(%)
1 飲食	801	24.6
2 タクシー	405	12.5
3 建設	357	11.0
4 販売	150	4.6
5 運送	99	3.0
6 製造	77	2.4
7 接客	69	2.1
8 代行	56	1.7
9 保険	54	1.7
10 塗装	53	1.6
11 ホテル	47	1.4
12 美容	46	1.4
13 宿泊	46	1.4
14 清掃	45	1.4
15 漁業	43	1.3
16 メンテナンス	39	1.2
17 マッサージ	39	1.2
18 小売	39	1.2
19 土木	36	1.1
20 農業	33	1.0
21 介護	31	1.0
22 コンビニ	30	0.9
23 建築	26	0.8
24 事務	25	0.8
25 調理	25	0.8
26 解体	24	0.7
27 旅館	23	0.7
28 自動車	22	0.7
29 解体	21	0.6
30 バス	21	0.6

総合支援資金(再貸付)

職種別	件数	割合(%)
1 飲食	715	25.8
2 タクシー	301	10.8
3 建設	274	9.9
4 販売	106	3.8
5 運送	75	2.7
6 接客	69	2.5
7 製造	64	2.3
8 土木	55	2.0
9 代行	52	1.9
10 保険	49	1.8
11 塗装	47	1.7
12 清掃	45	1.6
13 美容	42	1.5
14 メンテナンス	39	1.4
15 宿泊	39	1.4
16 介護	37	1.3
17 建築	37	1.3
18 コンビニ	35	1.3
19 農業	35	1.3
20 ホテル	34	1.2
21 マッサージ	32	1.2
22 小売	31	1.1
23 漁業	29	1.0
24 事務	22	0.8
25 旅館	22	0.8
26 配送	20	0.7
27 自動車	20	0.7
28 警備	20	0.7
29 調理	19	0.7
30 解体	18	0.6

就業形態別

就業形態別	件数	割合(%)
1 会社員	6,376	37.6
2 自営	5,985	35.3
3 無職	2,315	13.6
4 パート	688	4.1
5 アルバイト	641	3.8
6 派遣	513	3.0
7 従業員	373	2.2
8 フリーランス	28	0.2
9 会社役員	25	0.1
10 学生	17	0.1
11 フリーター	7	0.0
12 公務員	4	0.0

就業形態別

就業形態別	件数	割合(%)
1 自営	1,311	41.2
2 会社員	709	22.3
3 無職	627	19.7
4 パート	185	5.8
5 アルバイト	174	5.5
6 派遣	93	2.9
7 従業員	68	2.1
8 会社役員	9	0.3
9 フリーランス	4	0.1
10 学生	1	0.0
11 フリーター	0	0.0
12 公務員	0	0.0

就業形態別

就業形態別	件数	割合(%)
1 自営	1,605	43.4
2 会社員	929	25.1
3 無職	659	17.8
4 アルバイト	178	4.8
5 パート	171	4.6
6 派遣	92	2.5
7 従業員	45	1.2
8 会社役員	14	0.4
9 フリーランス	2	0.1
10 公務員	2	0.1
11 学生	2	0.1
12 フリーター	0	0.0

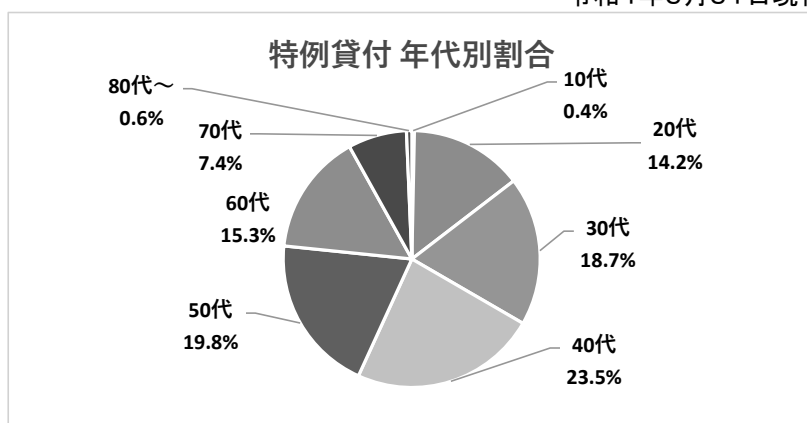
生活福祉資金新型コロナ特例貸付 年代別貸付状況

40代までの借入者が、全体の半数以上を占めている。

令和4年3月31日現在

区分	件数	割合
10代	95	0.4%
20代	3,842	14.2%
30代	5,058	18.7%
40代	6,341	23.5%
50代	5,347	19.8%
60代	4,140	15.3%
70代	1,999	7.4%
80代～	174	0.6%
計	26,996	100.0%

56.8%



生活福祉資金新型コロナ特例貸付 市町村別貸付状況

令和4年3月31日現在

市町村	緊急小口資金・総合支援資金(初回貸付)				総合支援(延長貸付)		総合支援(再貸付)		金額計
	件数	うち 労金	うち 郵便	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
大分市	13,223	122	48	4,489,070	2,956	1,551,400	2,999	1,590,450	7,630,920
別府市	4,176	20	5	1,433,000	990	514,170	1,110	577,800	2,524,970
中津市	1,763	19	20	440,515	147	54,290	137	52,280	547,085
日田市	1,064	5	2	336,060	143	72,330	169	89,340	497,730
佐伯市	1,414	8	0	541,630	313	167,597	295	158,550	867,777
臼杵市	525	2	1	187,470	122	65,164	124	67,700	320,334
津久見市	139	2	0	46,840	20	9,600	26	12,400	68,840
竹田市	189	0	1	61,950	26	14,250	39	19,900	96,100
豊後高田市	240	4	35	67,890	34	16,870	24	11,730	96,490
杵築市	585	4	6	201,410	130	66,600	125	67,050	335,060
宇佐市	1,325	17	1	458,740	271	145,900	313	168,750	773,390
豊後大野市	358	1	1	121,830	56	29,970	66	36,000	187,800
由布市	821	5	0	312,190	222	116,925	183	95,750	524,865
国東市	293	2	0	109,310	69	35,500	62	32,150	176,960
各市計	26,115	211	120	8,807,905	5,499	2,860,566	5,672	2,979,850	14,648,321
姫島村	6	0	0	1,850	0	0	0	0	1,850
日出町	509	1	2	185,125	133	68,850	121	63,900	317,875
九重町	151	1	0	51,315	31	16,150	27	14,250	81,715
玖珠町	215	0	0	74,550	32	16,550	45	24,050	115,150
町村計	881	2	2	312,840	196	101,550	193	102,200	516,590
総合計	26,996	213	122	9,120,745	5,695	2,962,116	5,865	3,082,050	15,164,911

施設団体支援部

種別協議会を通して各福祉分野における課題に対応した研修事業、調査・研究活動等を行うとともに、新たな社会福祉法人制度に対応したセミナーや経営指導事業を行った。

県受託事業による球技大会等の実施、各種別協議会が主催する研修会や研究大会の運営支援を行った。

1 社会福祉施設経営指導事業

(1) 個別指導

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と利用者サービスの向上を図ることを目的に経営指導員による指導・助言を行った。

令和3年度の相談実績は、17件となった。

相談実績

項目	件数(件)	割合(%)
利用者サービスに関する事	15	88.2
施設経営に関する事	0	0.0
職員処遇に関する事	0	0.0
会計及び経理に関する事	2	11.8
施設整備に関する事	0	0.0
その他の運営に関する事	0	0.0
合計	17	100.0

(2) 集団指導

社会福祉施設の健全かつ発展的な経営を目的とした「社会福祉施設等経営支援セミナー」を開催した。

①ホスピタリティを表現する接遇マナー研修	6月 2日
②感染症対策と予防研修	6月 23日
③福祉業界における介護ロボット・ICTの活用と課題	7月 21日
④コンフリクトマネジメント研修	9月 1日
⑤メンタルヘルス研修	9月 15日
⑥効果的な部下・新人育成の実務研修	10月 20日
⑦プロ意識醸成研修 ～仕事の意欲向上のために～	11月 17日
⑧権利擁護／虐待防止とリスクマネジメント研修	12月 8日
⑨アンガーマネジメント研修	1月 12日
⑩ハラスメント防止研修	2月 9日

※②・⑨は、オンライン研修、⑩は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業

教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施している本事業について13大学から258人の申込みがあり、各社会福祉施設での5日間の体験学習を実施した。

介護等体験修了者数

県内・県外の別	大 学 数	体験者数 (人)
県内の大学	6 大学	254
県外の大学	7 大学	4
合 計	13大学	258

3 児童福祉関係行事委託事業

児童福祉施設や知的障がい施設の利用者に対し、スポーツ大会を実施した。

(1) 第 57 回大分県児童福祉施設等卓球大会 (12 月 4 日)

※大分県知的障がい施設球技大会 (ティーボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール)、第 59 回大分県児童福祉施設等球技大会 (野球、バレーボール) は、参加児童の減少及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 種別協議会等の運営の支援

(1) 大分県老人福祉施設協議会

①各種会議等の開催

総会 (1 回)、正副会長会議 (7 回)、役員会 (3 回)、制度政策委員会 (2 回)、研修委員会 (2 回)、2040 委員会 (2 回)、特養部会 (1 回)、養護老人ホーム部会 (2 回)、軽費・ケアハウス部会 (1 回)、デイサービス部会 (1 回)

②研修会等の開催

施設長研修会、介護職員研修会、軽費・ケアハウス職員研修会、デイサービスセンター職員研修会、外国人介護人材受入推進セミナー等の開催、大分県高齢者福祉施設等実践研究大会

③その他の活動

「介護って素晴らしいフォトコンテスト」の実施、法務対策協議会事業の実施、全国老協災害派遣福祉チームの登録更新、県との意見交換会、福祉人材確保推進等の取り組み、新型コロナウイルス感染症対策の取り組み、国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC 製手袋・不織布マスクの配布 等

(2) 大分県身体障害児者施設協議会

①各種会議等の開催

施設長会 (1 回)

②研修会等の開催

職員研修会 (2 回)

③その他の活動

国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC 製手袋・不織布マスクの配布、関係団体会議等への出席 等

(3) 大分県児童養護施設協議会

①各種会議等の開催

施設長会 (4 回)、企画・運営委員会 (6 回)

②研修会等の開催

新任職員研修会、子どもの人権権利擁護研修、社会的養護を考えるトップセミナー、社会的養育職員等合同研修会、各種職種別連絡会 等

③啓発事業

第7回「オレンジリボンたすきリレー」の実施（11月5日）

④その他の活動

児童養護施設等卓球大会（12月4日）、児童旅立ち激励会（2月15日）、国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC製手袋・不織布マスクの配布 等

（4）大分県知的障害者施設協議会

①各種会議等の開催

総会（1回）、施設長会（1回）役員会（2回）、正副会長会（6回）、制度政策委員会（1回）、研修委員会（7回）、施設長対象部会会議（1回・書面）、職員対象部会会議（1回・書面）、体育委員会（2回）

②研修会の開催

職員研修会（2回）

③各種スポーツ大会等の開催

第25回施設利用者ボウリング大会

④その他の活動

国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC製手袋・不織布マスクの配布 等

（5）大分県就労支援事業所協議会

①各種会議等の開催

施設長会（2回）、役員会（3回）、研修委員会（1回）

②研修会・大会等の開催

職員研修会（2回）

③その他の活動

セルフ自動販売機設置事業の推進、国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC製手袋・不織布マスクの配布 等

（6）大分県母子生活支援施設協議会

①各種会議等の開催

総会

②研修会等への参加

社会的養護を担う児童福祉施設長研修会〔動画配信、Web〕

③その他の活動

国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC製手袋・不織布マスクの配布 等

（7）大分県里親会

①各種会議等開催

理事会（4回）

- ②里親サロン事業（県内6ブロックで実施）
- ③里親賠償責任保険業務
- ④広報誌「縁～えん～」の発行（3回）

(8) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

- ①各種会議等の開催
総会（1回）、理事会（2回）
- ②研修会等の開催
職員研修会、ブロック別研修会
- ③その他の活動
国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動、PVC手袋・不織布マスクの配布 等

(9) 大分県社会福祉法人経営者協議会

- ①各種会議等の開催
総会（1回・書面）、理事会（3回）、正副会長会（1回）
- ②研修会の開催
社会福祉法人経営セミナー〔Web〕（2回）、防災士養成研修（3日間）、防災士養成研修にかかる普通救命講習会（1回）、外国人介護人材受入推進 Web セミナー（3回）、介護のしごと 外国人日本語研修（6回）
- ③その他の活動
組織強化に向けた入会促進、経営協情報の提供、国・県等に対する新年度予算及び新型コロナウイルス対策等に関する要望活動 等

(10) 大分県社会福祉法人経営青年会

- ①各種会議等開催
総会（1回）、役員会（5回）
- ②研修会等の開催
資質向上研修会（Web・2回）
- ③その他の活動
組織強化に向けた入会促進

(11) 大分県知的障害児者生活サポート協会

- ①協会の運営支援
総会（1回）、理事会（2回）
- ②交流事業
ボウリング大会の実施、お楽しみ抽選会の実施、ハロウィンパーティーの実施

5 外国人介護人材の確保対策に関する事業

(1) 外国人介護人材受入推進協議会等実施事業

- ① 外国人介護人材受入推進協議会の設置・開催
 - ・ 第1回 新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ書面協議開催
 - ・ 第2回 12月7日

- ・第3回 新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ書面協議開催
- ② 外国人介護人材受入推進 Web セミナーの開催
 - ・第1回 (在留資格「技能実習」の受入) 12月 10日
 - ・第2回 (在留資格「特定技能」の受入) 1月 14日
 - ・第3回 (在留資格「介護」を目指す留学生の受入) 3月 1日
- ③ 外国人介護人材受入・定着支援アドバイザーの認定、相談支援の実施
 - ・施設支援アドバイザー 7人
 - ・外国人介護従事者支援アドバイザー 4人
 - ・受入促進アドバイザー 9人
- ④ 外国人介護人材受入状況調査
対象数：1,435事業所

(2) 外国人介護人材集合研修等実施事業

外国人介護人材スキルアップ研修会

研修科目	開催日	会場	内容	参加者
介護技術①	7月29日 8月11日 10月5日	大分県社会福祉 介護研修センター	身じたくの介護、移動 の介護、食事の介護等	29人
介護技術②	8月21日 11月13日	大分県社会福祉 介護研修センター	入浴の介護、排せつの 介護等	17人
介護の日本語①	9月16日 10月28日 10月29日	オンライン	受容・共感・傾聴、 日本語能力試験対策、 ひらがな・漢字の読み 書き等	32人
介護の日本語②	10月6日 10月15日 11月2日	グランツたけた 宇佐文化会館・ウサノピア 大分県総合社会福祉会館	申し送り、記録の読 み、介護の専門用語、 大分の方言等	19人

(3) 外国人介護人材受入推進事業

在留資格「日本人の配偶者等」、「定住者」、「永住者」及び「永住者の配偶者等」向け日本語研修会

	開催日	開催方法	内容	参加者
第1回	2月18日	オンライン	漢字の意味、読み、書き	5人
第2回	2月25日		※各回、薬に関する介護の専門	8人
第3回	3月4日		用語を10個ずつ学習	10人
第4回	3月11日		※第3回、第5回、第6回に	12人
第5回	3月25日		効果測定として確認テスト	6人
第6回	3月30日		を実施	7人

(4) 外国人留学生及び特定技能1号外国人等の受入環境整備事業

送出国及び県内介護事業所への情報提供（ベトナム国）

開催日	協力・支援	内 容	開催方法	参加者
2月22日	U International Human Co., Ltd (UIH社)	在ベトナムの県内介護事業 所就労希望者及び県内事業 所との交流会 (大分県の魅力、UIH社 から在ベトナムの特定技能 希望者に関する説明、就労 希望者との交流会)	web	就労 希望者 7人
				県内 11事業所
2月24日 から 2月26日	株式会社 ONODERA USER RUN	上記参加事業所向け説明会 (登録支援機関に委託した 場合の受入手続き、費用の 目安)	動画配信	県内 11事業所

6 善意銀行関係・その他事業

(1) 渡邊昭子傘寿記念奨学基金

児童養護施設を卒園し、大学、短大、専修学校等へ進学する際の入学金、授業料等
に対して支給 件数：3人（3施設）

(2) 児童養護施設卒園児童への激励金

児童養護施設を卒園する児童に対して支給 件数：31人（8施設）

(3) 物品等の寄贈

九州納豆組合（納豆）、大分県農業共済組合（感謝米）等の寄贈物品を児童福祉施
設等に対して配分

(4) 老人福祉事業助成金

「老人はげみの里見会」の助成金を県内高齢者施設に対し、ノーリフティングケア
関係機器の購入費として配分するとともに、高齢者施設の永年勤続職員への感謝記念
品として贈呈した。

7 社会福祉施設職員等確保支援事業

新型コロナウイルス感染症の発生によりサービスの継続が困難になった社会福祉施設
に、他の施設から職員を派遣し円滑な運営が行われるよう調整等を行った。

派遣月	感染症発生施設 (派遣要請施設)	職員派遣施設	実派遣人数	延べ派遣 日数
令和3年 5月	介護老人保健施設	介護老人保健施設 1施設	1人	7日
令和4年 3月	特別養護老人ホー ム	特別養護老人ホーム 2施設	2人	14日

8 高齢者福祉施設の避難訓練支援事業

高齢者福祉施設における避難訓練の定着、立地場所や利用者の特性に応じた対応方法の見直し等を促進するため、福祉団体や住民と連携した訓練の支援を実施した。

No.	施設名	講義・ 打合せ日	参加 者数	講師・訓練指導者
		訓練日		
1	清流苑	6月11日	15人	レスキュー・サポート九州 代表理事 木ノ下 勝矢 氏 理 事 轟 美智代 氏
		6月17日	49人	
2	風雅の里 上野	9月9日	11人	
		9月17日	17人	
3	共生の里 メルヘン	11月4日	8人	
		12月13日	39人	
4	はまゆう	11月11日	30人	
		12月3日	80人	
5	センテナリアン	12月8日	11人	
6	日田園	2月7日	14人	

社会貢献推進班

県内社会福祉法人（施設）で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」と連携・協働して、社会福祉法人の地域公益活動（社会貢献活動）の推進のほか、施設職員（CSW）による、制度の狭間で困っている生活困窮者等に対する相談支援事業「おおいたくらしサポート事業」を実施した。

1 社会福祉法人による地域公益活動（社会貢献活動）の推進

県社協及び経営協をはじめとする各種別協議会が連携・協働して地域公益活動（社会貢献）を推進した。

（１）協議会への運営支援

- ①総会の開催
令和3年6月（書面）
- ②大分県社会貢献活動推進運営委員会の開催
第1回 令和3年 6月25日（金）
第2回 令和4年 2月28日（月）

（２）社会福祉法人に対する地域公益活動の推進支援

- ①社会貢献活動助成事業の実施（2法人）
 - ・子ども食堂「やわらぎダイニング」事業
 - ・就労訓練に伴う草刈機等の購入事業
- ②「社会貢献活動実践レポート」（No. 4）の作成
 - ・認定就労訓練事業
 - ・居場所づくり支援事業
 - ・ちちんぷいぷい子どもの会
 - ・くすのきハウス事業

（３）「おおいたくらしサポート事業」の推進

- ①社会福祉法人（施設）のCSWによる生活困窮者等への相談支援事業
 - ・経済的援助実人数 104人（現物給付）
 - ・相談受付 117件
 - ・転居費用等に係る経済的援助 13件
 - ・経済的援助額 4,867千円
- ②人材養成の実施
 - ・第11回コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（3日間）
 - （第1日）令和3年8月 5日（木）
 - （第2日）令和3年9月 2日（木）
 - （第3日）令和3年9月28日（火）
 - ・コミュニティソーシャルワーカースキルアップ研修
令和4年1月31日（月）
 - ※ 生活困窮者自立支援制度担当職員等研修との合同研修

- ③生活困窮者自立支援事業等との連携
 - ・エリア連携会議の開催
 - ・各種会議・研修への参画
- ④くらしサポート事業の実施体制整備
 - ・CSW 現況・活動調査の実施
 - ・拠点施設 CSW 連絡会議の開催（2回）
 - ・CSW 活動保険の加入
 - ・弁護士との連携体制の整備

（４）広報・啓発活動の実施

- ①事例集の配布
 - ・「社会福祉法人による社会貢献活動事例集 VOL 5」の作成、配布
- ②大分県社協広報誌、ホームページを活用した情報発信
 - ・大分県社協広報誌「だいふく」及びホームページ「しせつの窓」を活用し、事例集から活動を紹介するなど、社会福祉法人の社会貢献活動を発信

福祉サービス評価センターおおいた

福祉サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的とする福祉サービス評価事業として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施した。

1 福祉サービス評価委員会の開催

回数	期 日	主 な 内 容
第1回	4月16日	(1) 令和2年度事業実績及び決算見込について (2) 令和3年度事業計画及び収支予算について
第2回	9月10日	(1) 令和3年度事業の進捗状況について
第3回	2月4日	(1) 令和3年度事業の進捗状況について

2 地域密着型サービス等外部評価審査委員会の開催

期 日	主 な 内 容
4月21日	(1) 令和2年度評価センター事業実績及び決算見込について (2) 令和3年度評価センター事業計画及び予算について

3 評価・調査実績

評価結果は、評価を受けた事業者の同意を得て独立行政法人福祉医療機構のWAMNETや当センターのホームページに公表し、福祉サービス利用者へ情報提供を行った。

(1) 福祉サービス第三者評価

種 別	R 3 件数	R 2 件数	R 1 件数	H30 件数	H29 件数
特別養護老人ホーム			3	1	2
通所介護	2	1		1	3
訪問介護					
保育所（認定こども園含む）		4		2	2
障害者支援施設		2			2
障害児施設		1			1
救護施設			1		
児童養護施設	2	3	2	2	5
母子生活支援施設		1	2		1
児童自立支援施設	1				1
乳児院	1				1
児童心理治療施設		1			1
合 計	6	13	8	6	19

(2) 地域密着型サービス等外部評価

種 別	R 3 件数	R 2 件数	R 1 件数	H30 件数	H29 件数
認知症対応型共同生活介護 事業所(認知症高齢者グルー プホーム)	55	34	54	36	57

※平成22年度から「大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱第3の2」の規定が適用された場合、外部評価実施回数が緩和されている(2年に1度受審)。

4 研修・会議の開催

研 修 名	期 日	会 場	参加者
第三者評価調査者及び外部評価 調査員意見交換会	9月24日	県総合社会 福祉会館	8名
福祉サービス第三者評価事業 「評価事業者普及協議会」	6月16日～29日 (動画配信期間)	—	1名
社会的養護関係施設第三者評価 事業「評価調査者」継続研修会	2月22日～3月14日 (動画配信期間) 3月2日(ライブ配信)	—	5名

5 第三者評価機関に関する情報公開

- ①当センターのホームページに、規程をはじめ評価手数料等を公開している。
- ②大分県総合社会福祉会館及び大分県社会福祉介護研修センターに「福祉サービス評価センター大分」で福祉サービス第三者評価を受審した事業所を掲示している。

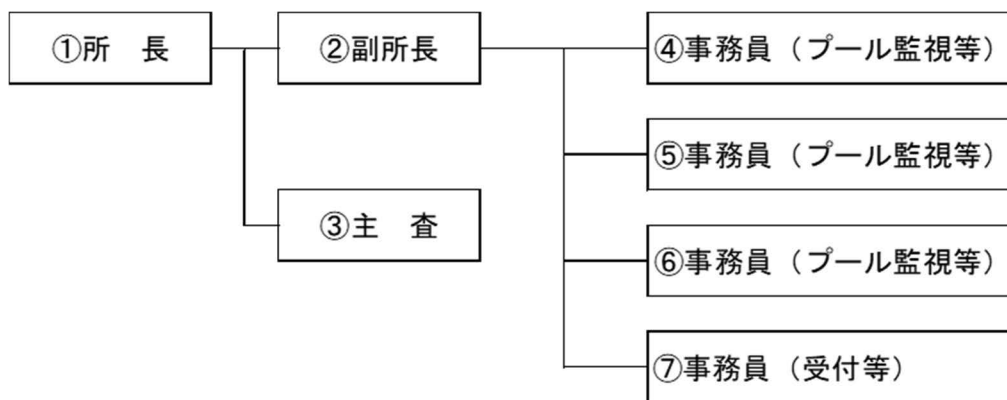
身体障害者福祉センター（あすぴあおおいた）

I 管理業務の実施状況

1 事業の成果

- (1) 障がい者の社会参加を推進するため、障がい者関係団体、ボランティア等の協力を得、障がい者関係団体等の会議、研修、訓練の場として便宜を供与するとともに、スポーツ・レクリエーション、機能訓練、文化活動等の各教室を開催した。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、センター運営に努めたが、感染者が急増した第4波及び第5波の期間である5～6月と8月下旬～9月の間、主催教室・大会の中止等を余儀なくされた。

2 管理運営組織



II 管理運営の利用状況

1 全体の利用状況

	令和3年度	令和2年度	対前年比
開所日数	298日	298日	100%
障がい者利用者数	16,491人	15,820人	104.2%
介護者・ボランティア	6,122人	5,571人	109.9%
福祉団体等	4,698人	3,648人	128.8%
障がい者以外の利用者	23,351人	18,413人	126.8%
総利用者数	50,662人	43,452人	116.6%

2 利用登録団体

- (1) 文化施設利用登録団体 (54団体)
- (2) スポーツ団体利用登録団体 (39団体)

3 主催大会・行事の開催状況等について

(1) 主催大会

- ①第18回卓球バレー大会：6月20日（日）中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- ②第36回将棋交流大会：7月11日（日）開催（参加者：18人）
- ③第26回ふうせんバレーボール大会：7月18日（日）開催（参加団体：9チーム・93人）
- ④第36回囲碁交流大会：8月1日（日）開催（参加者：9人）

- ⑤あすぴあフェスタ 2021：10月24日（日）中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- ⑥第16回フライングディスク大会：12月4日（土）開催（参加者：32人）
- ⑦第35回県社協会長杯卓球大会：12月5日（日）開催（参加者：188人）
- ⑧第35回サウンドテーブルテニス大会：12月12日（日）開催（参加者：29人）
- ⑨第7回スポーツウエルネス吹矢大会：2月6日（日）中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- ⑩第4回オセロ交流大会：3月6日（日）中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(2) 夢物語作品展

期 日：令和3年10月25日（月）～11月30日（火）

内 容：教室受講生等の作品をセンター内展示スペース（1、2階）にて展示
（各部門の作品数）

展示内容	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
絵画・造形	—	11	5・合同作品	合同作品
書 道	—	13	15	11
絵 手 紙	8	16	9	18

(3) 第36回障害者による書道・写真全国コンテスト

主 催：全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）

募集期間：令和3年7月15日（木）～9月10日（金）

内 容：○書道部門 1点出展

○写真部門 3点出展

○携帯フォトの部 1点出展

審査結果：○書道部門 銅賞 金子 真優 氏 「いつもありがとう」

○写真部門 銀賞 波多野 亜美 氏 「黄金色の朝空」

○携帯フォトの部 入賞 佐藤 貞子 氏 「やさしさに包まれて…」

(4) テーマ設定型研修会

日 時：令和4年3月5日（土）10:00～11:50

場 所：大分県総合社会福祉会館 3階 中研修室

内 容：講 義「養護者（家族）による障がい者虐待事案への対応と支援」

講 師 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター

別府市基幹相談支援センター

障害者生活支援センター

課長補佐 青山 昌憲 氏

事業説明「大分県障がい者差別解消・権利擁護推進センターの役割と機能
について」

説 明 者 大分県障害者社会参加推進センター

事務局長 高窪 修 氏

参加者：25人

(5) 個別相談会

日 時：令和4年3月5日（土）12:00～13:00

場 所：大分県総合社会福祉会館 3階 中研修室

参加者：0人（相談者なし）

4 円滑な利用に向けた取り組みについて

(1) 令和3年度下半期 施設利用調整会議

日 時：令和3年8月1日（日）13:30～14:00

団体数：対象80団体

内 容：①施設利用に当たっての留意事項等 ②利用希望の重なる団体間の調整
③教室・大会等の日程調整 など

(2) 令和4年度上半期 施設利用調整会議

日 時：令和4年2月19日（土）13:30～15:30

団体数：対象85団体

内 容：①施設利用に当たっての留意事項等 ②利用希望の重なる団体間の調整
③教室・大会等の日程調整 など

(3) 体育室利用予約会

日 時：原則、毎月第一週の閉館日の翌日（12回）

団体数：延べ198団体

内 容：上記「施設利用調整会議」で障がい関係団体が利用する日を除いた日を
対象に、一般団体の利用を調整する。

(4) 駐車場利用調整会議

日 時：毎月末

参加者：あすぴあおおいた、県社会福祉協議会総務・企画情報部、県母子・父子福
祉センター、管理室（株）メンテナンス

内 容：翌月の総合社会福祉会館全体の駐車場利用見込みを把握の上、日単位での
臨時駐車場確保の可否を検討

5 運営委員会の開催について

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書類送付による対応。
- ・送付内容：① 令和3年度事業報告について
② 令和4年度事業計画（案）について

6 自主事業等について

(1) 夏季期間の温水プール個人利用開放

期 日：令和3年7月29日（木）から8月26日（木）までの期間中の木曜日

時 間：10:00～12:00

対 象：障がい者（児）とその介助者

(2) 冬季期間の温水プール個人利用開放

期 日：令和3年11月12日（金）から令和4年3月25日（金）までの期間中の
月2回の金曜日

時 間：13:00～15:00

対 象：一般、障がい者（児）とその介助者

※プール内シャワー室の不具合のため、1月14日（金）と2月4日（金）は個人の
利用を中止。また、2月25日（金）～4月4日（月）まで中止。

(3) あすぴあフェスタ 2021 の開催

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) あすぴあ倶楽部の運営（令和元年度開設）

- ・障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じて共に楽しむことを目的に開設
- ・現在、「切り絵」、「折紙」、「合唱」、「将棋」、「機織り」、「オカリナ」、「パンづくり」、「英語」、「音楽」の各倶楽部が発足しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「合唱」、「オカリナ」、「パンづくり」、「英語」、「音楽」については中止
- ・3月末時点での開催回数は22回、参加者は延べ157人（障がい者は93人）

倶楽部名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
切り絵・折紙	1回 7人	中止	中止	1回 16人	1回 14人	中止	1回 16人	1回 15人	1回 10人	1回 7人	中止	1回 11人	8回 96人
将棋	1回 7人	中止	中止	1回 5人	中止	中止	1回 10人	1回 7人	1回 7人	1回 3人	中止	1回 2人	7回 41人
機織り	1回 3人	中止	中止	1回 1人	1回 3人	中止	1回 4人	1回 3人	1回 3人	— —	中止	1回 3人	7回 20人
計	3回 17人	中止	中止	3回 22人	2回 17人	中止	3回 30人	3回 25人	3回 20人	2回 10人	中止	3回 16人	22回 157人

7 各種研修への参加等について

(1) メンター、メンティ合同研修会

期 日：令和3年6月22日（火）10:00～16:30

場 所：母子・父子福祉センター研修室

参加者：1人

(2) 消防訓練（避難訓練・消火訓練）

期 日：令和4年1月19日（水）9:30～10:25

参加者：4人

(3) 職員接遇マナー向上研修会

令和3年8月28日（土）に、体育室利用団体から、職員の対応について苦情を受けたことから、急遽、接遇マナー向上に向けた研修等を下記のとおり実施。

①所内研修

日 時：令和3年9月2日（木）、3日（金）／14:00～15:00

場 所：創作作業室

講 師：所長

参加者：6人

②実地研修

日 時：令和3年9月22日（水）、24日（金）、25日（土）／14:00～16:00

場 所：大分市大洲総合体育館ーコナミスポーツ株式会社ー

内 容：受付、電話での応対状況（言葉遣いを含む）やトレーニングルーム等でのスタッフの動き等を直に見聞するとともに、苦情対応やヒヤリハット等発生時の情報共有方法等を聴取した。なお、研修結果については、各自、ペーパーにまとめ、それを全職員にフィードバックした。

参加者：7人

③専門研修

日 時：令和3年10月8日（金）、29日（金）／14:00～15:00

場 所：生活訓練室（洋室）

講 師：社会福祉法人同心会 理事・諏訪緑の園施設長 宇都宮 浩二 氏

テーマ：職員の接遇マナー等について～福祉職員として求められるころえ～

参加者：7人

（4）視察・見学

（視察・協議）

①県DX推進課 / NTTdocomo 法人事業部 / (株) ベイカレント・コンサルティング

期 日：令和3年12月21日（火）15:00～16:00

内 容：①意見交換（障がい者eスポーツを普及するに当たっての課題等）

②施設紹介

8 ボランティアの育成について

（1）センターボランティア登録者数

47人（令和4年3月末現在）

（2）ボランティアの活動状況（3月末まで延べ参加人数）

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
教 室	197	173	373	312
大会・行事	16	—	24	67

（3）登録ボランティア研修会の開催

日 時：令和3年10月9日（土）13:30～15:30

場 所：大分県総合社会福祉会館 3階 中研修室

テーマ：精神障がい者への支援について

講 師：大分県精神保健福祉士協会 会長 松本 憲治 氏

参加者：15人

9 施設・設備の維持管理について

（1）施設維持管理

① 温水プールの水質検査 ※各項目とも検査基準に適合

・毎日（センター職員が測定）

○ 遊離残留塩素濃度（0.4 mg/L～1.0 mg/L）

○ 水温管理（31.5℃±0.5℃）

・毎月（委託：(株) エスク横浜分析センター）

検 査 項 目	検 査 日	
ア 水素イオン濃度（PH値5.8～8.6）	4月9日（金）	10月16日（土）
イ 濁度（2度以下）	5月13日（木）	11月12日（金）
ウ 有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）（12 mg/l以下）	6月4日（金）	12月9日（木）
エ 大腸菌（検出されないこと）	7月10日（土）	1月14日（金）
オ 一般細菌（200CFU/ml以下）	8月6日（金）	2月17日（木）

	9月24日(金)	3月18日(金)
--	----------	----------

・年1回(委託:(株)エスク横浜分析センター)

検査項目	検査日
ア 総トリハロメタン(クロホルム等)(概ね0.2mg/l以下)	8月6日(金)
イ レジオネラ属菌(検出されないこと)	

②温水プール(更衣室を含む。)の特別消毒

- ・8月24日(火)の温水プール利用者の中から1人新型コロナウイルス感染者(濃厚接触者)が発生したことが26日(木)に判明。
- ・このため、26日以降、温水プールの利用を中止し、その間、専門業者による温水プール及び更衣室の消毒作業を行い、9月4日(土)から利用を再開。

③温水プール水の入替及び掃除 委託業者:(株)メンテナンス

- ・令和3年6月7日(月)8:00~14:00
- ・令和3年10月4日(月)8:00~14:00

④法定点検

- ・消防設備等点検:8月30日(月)、2月28日(月)
- ・空気環境測定:5月28日(金)、7月16日(金)、8月23日(月)、9月17日(金)、11月26日(金)、1月21日(金)、3月31日(木)
- ・自動扉定期点検:6月23日(水)、9月22日(水)、12月8日(水)、1月31日(月)、3月15日(火)
- ・害虫駆除:4月7日(水)(ユスリカ駆除)、4月9日(金)(ユスリカ駆除)、4月21日(水)(ユスリカ駆除)、6月7日(月)、12月6日(月)
- ・煤煙測定:9月13日(月)、3月16日(水)
- ・貯水槽(受水槽・高架水槽)清掃:1月10日(月)

⑤定期点検(建築基準法)

- ・エレベーター定期点検:毎月1回
- ・温水ボイラー点検:4月2日(金)、10月25日(月)
- ・キュービクル定期点検:7月29日(木)、8月6日(金)
- ・電気設備点検:10月18日(月)
- ・中央監視装置保守管理点検:9月13日(月)
- ・汚水槽清掃:12月14日(火)

⑥保守点検

- ・壁面式バスケットゴール:3月10日(木)
- ・機能回復訓練室 トレーニング器具:3月17日(木)

⑦大分市環境対策課立入検査:1月20日(木)

⑧特殊清掃(ガラス清掃):12月8日(水)

⑨その他

- ・真空遮断器(VCB)・過電流継電器(OCR)取替修繕:5月5日(水)
- ・ファンコイルユニットフィルター清掃:5月17日(月)、18日(火)、23日(日)
- ・冷温水発生機冷房切替作業:5月24日(月)
- ・冷温水発生機暖房切替作業:10月29日(金)

(2)施設・設備整備

①温水プール 異性介助用 簡易更衣室設置(令和4年3月)

(3) 小修繕工事等

No.	設 備	修 繕 内 容	修繕月
①	温水プール	温水プールコースロープ用ターンバックル修理	8月
②		温水プールフロート破損箇所の交換	8月
③		塩素供給装置ポンプ交換	9月
④		温水プール浮遊物除去・プール水入替・清掃	10月
⑤		還風機・送風機Vベルト交換	11月
⑥		温水プール男子・女子シャワー室系統大型サーモ修理	1月
⑦		1階地下ピット内給湯管漏水修理	3月
⑧	体育室	体育室北側カーテンレール修理	6月
⑨		空調機械室体育室系統エアコンモーター他Vベルト取替	6月
⑩	卓球室	卓球室網戸取付	10月
⑪	生活訓練室	生活訓練室(洋室)鍵取替	10月
⑫	療育訓練室	療育訓練室網戸設置	6月
⑬	調理実習室	調理室水栓工事	5月
⑭		調理実習室コンセント修理	3月
⑮	その他	事務室内ブラインドカーテン補修	4月
⑯		交流談話室ブラインド修理	7月
⑰		雑排水ポンプ電極交換	9月

10 広報の状況

(1) ホームページ等による情報提供 (URL <http://www.sc-oita.net/>)

- ① 行事・お知らせ等の最新情報 (随時更新)
- ② 施設予約状況の案内
 〈ホームページアクセス件数〉
 ・令和4年3月末日：28,823件 (令和3年3月末日：26,903件)

(2) 印刷物による広報

No.	内 容	枚 数	配 布 先
①	センター主催教室受講生募集	2,000部	各関係機関、施設、受講生
②	利用案内 (プール用)	200部	利用者用
③	利用案内 (体育室・卓球室)	200部	利用者用
④	年報 (令和2年度版)	200部	各関係機関、施設等

11 関係機関との連携状況 (NPO 団体等との連携による教室・大会等の開催)

(1) 各種教室実施等に係る連携

- ① 親子水泳教室 [県身体障がい者福祉水泳指導者協会]
- ② スポーツ吹矢教室 [大分県スポーツウエルネス吹矢協会大分中央支部]
- ③ 水中リフレッシュ教室・いきいきリフレッシュ教室
 [NPO法人にここフィットネス協会]
- ④ おおいたeスポーツ体験会 [大分県(DX推進課)]

12 利用者満足度調査 (アンケート調査の実施) について

対象団体 (者)	調査時期	備 考
会議室等利用団体 (登録50団体)	2月～	

スポーツ施設使用団体（登録40団体）	2月～	
個人の利用者（一般を含む）	2月～	
教室等受講者	教室等終了時	

13 主な苦情等

- (1) 窓口対応について（令和3年8月28日）
- (2) 機能回復訓練機器利用時における対応について（令和3年10月22日）

14 サービス改善事業

(1) 障がい者eスポーツの普及啓発に向けた取組（サービス改善提案事業）

「eスポーツ」を障がい者の社会参加ツールとして普及させることにより、障がい者の輝く場や交流の場を創出することを目的に令和3年度から7年度まで実施する予定。なお、今年度は「ドローンサッカー」を選定し、下記のとおり実施。

- ① eスポーツ体験型講習会（障害者支援施設等において障害福祉サービスに従事する職員等を対象）

日 時：令和3年10月15日（金）・11月5日（金）／10:00～11:30

場 所：体育室

内 容：ドローンについての基礎知識（座学）、ドローンサッカー体験（SKYKICKの操作体験、3対3のミニゲーム）、空撮体験

参加者：10月15日 17人／11月5日（金） 19人

- ② eスポーツ体験教室（障がい者・児とその家族を対象）

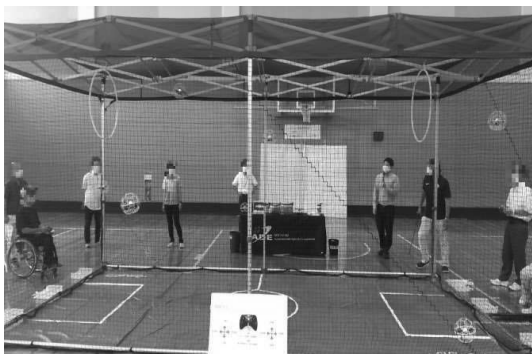
日 時：令和3年11月27日（土）10:00～11:00／12月11日（土）14:00～15:00

場 所：体育室

内 容：ドローンサッカー体験（SKYKICKの操作体験、3対3のミニゲーム）

参加者：11月27日 18人／12月11日 20人

【参考：eスポーツ体験型講習会（令和3年10月15日（金））】



15 指定管理について

(1) 指定管理者評価部会について

期 日：令和3年7月30日（金）11:00～11:50（現地調査）

令和3年7月30日（金）14:05～14:45（ヒアリング）

会 場：県庁舎1階12会議室

参加者：2人

【トピックス】

1 七夕飾り

令和3年7月7日（水）の前後一週間に1階玄関・2階階段付近に七夕飾りを設置。



2 クリスマスツリー飾り等

令和3年12月の1か月間、1階玄関と2階階段前にクリスマスツリーを設置。クリスマス前後にセンター利用児童等にクッキーをプレゼント



3 雛人形（七段飾り）の飾り付け

おりがみ教室の甲斐清子講師から寄贈された雛人形を令和4年2月16日（水）に、講師はじめボランティアの方々と共に、一階の交流談話室に設営。



Ⅲ 令和3年度の教室・講座等の開催

1 教室・講座等の開催

(1) スポーツ・レクリエーション教室

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
1	親子スポーツ教室A/B	トランポリンなどを使った様々な運動で体を動かし、スポーツの楽しさを体験します。	令和3年10月～令和4年3月	各6回	13:00～15:30 15:30～16:45	山崎 陽二 山崎フィットネス研究所 代表 フィットネストレーナー
2	親子水泳教室	水に慣れることや泳ぎの基本を学び、水泳の楽しさを体験します。	令和3年7月～10月	6	10:00～11:30	藤本 正広 県身体障がい者福祉水泳指導者協会 代表
3	卓球バレー教室	6人1チームで卓球台を囲み、障がいの程度に関係なく楽しむことのできる競技です。	令和3年7月～令和4年1月	6	10:00～11:30	佐藤 貞子 県卓球バレー協会 公認指導員
4	車いすテニス教室	車いすに乗って行うテニスで、2バウンドまでの返球が認められる競技です。	令和3年7月～令和4年12月	4	10:00～12:00	太陽の家車いすテニスクラブSpash
5	スポーツウエルネス吹矢教室	腹式呼吸を応用した「スポーツ吹矢式呼吸」で健康増進を図り、目的を達する楽しさを体験できます。	令和3年7月～令和4年3月	4	10:00～11:30	大西 實 (一社)日本スポーツウエルネス吹矢協会 大分中央支部長
6	ポッチャ教室	パラリンピックの公式種目で「床の上のカーリング」とも呼ばれています。	令和3年7月～令和4年12月	5	10:00～12:00	渡辺 法子 ポッチャ大分 代表
7	フライングディスク教室	円盤(ディスク)を遠くに投げたり、標的の輪をめがけて投げる競技です。	令和3年8月～11月	3	10:00～11:30	大分県障害者フライングディスク協会 指導者

(2) 趣味・文化 教室

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
8	料理教室A(土曜)/B(日曜)	地元の旬の食材を使った料理を作り、楽しい時間を過ごします。	令和3年7月～令和4年1月	各6回	10:00～13:00	城井 久美子 食生活改善推進員
9	絵画・造形教室	絵画をはじめとした芸術にふれ、絵を描くことや工作することの楽しさを学びます。	令和3年7月～令和4年1月	5	13:30～15:30	梅本 弥生 梅本美術研究所 代表
10	実用書道教室	日常的に使うペン字や筆ペンを使った鬚斗書きの他、毛筆や硬筆を楽しむ学びます。	令和3年7月～令和4年1月	6	13:30～15:30	河野 悦子 県美術協会 会員
11	絵手紙教室	四季の野菜・果物・花などを題材にし、絵手紙を作成します。	令和3年7月～令和3年12月	4	10:00～12:00	原野 彰子 絵手紙協会 認定講師
12	パソコンアドバイス教室	ワードやエクセルの実用的な機能を中心に学びます。	令和3年7月～令和3年12月	4	13:30～15:30	佐藤 清一 ボランティアみらいの会 代表
13	おりがみ教室	おりがみで季節を感じる作品を作り、手先と頭を活性化し、楽しい時間を過ごします。	令和3年7月～令和3年12月	5	10:00～13:00	甲斐 清子 日本折紙学会 指導員
14	音楽教室	発声方法を学び、様々な音に親しむなど、歌や楽器を通した音楽の楽しさにふれます。	—	—	—	中島 健司

(3) 機能訓練 教室

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
15	水中ウォーキング教室	温水プールで歩くことの楽しさを体験し、リハビリにつなげます。	令和3年7月～10月	9	10:30～12:00	木城八都子 フィットネストレーナー
16	水中リフレッシュ教室	入水前の体操や温水プール内では、普段使わない身体を意識して使い、身体機能を高めます。	令和3年7月～8月	4	10:30～11:30	岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネス協会 理事長
17	いきいきリフレッシュ教室	日常生活でも取り組める簡単な運動を学んでいきます。	令和3年11月～令和4年1月	8	10:30～11:30	岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネス協会 理事長
18	リハビリ運動教室	健康に毎日を過ごすための生活の見直し、大病にかからないための予防方法を学びます。	令和3年7月～令和4年2月	6	10:00～11:00	大平 高正 ハートリハソラ 代表・PT
19	園芸療法教室	花や多肉植物などを用いた創作活動を行い、人と植物の関係性や植物が人に与える機能などを利用したリハビリテーション技法の一つである「園芸療法」の魅力について学びます。	令和3年12月～令和4年3月	2	10:00～11:30	小石 鉄兵 大分短期大学 園芸科 助教

(4) 個別指導

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
20	水泳パーソナルレッスン	温水プールでの水泳の楽しさを体験し、リハビリにつなげます。	—	55	—	稲田 亜紀 日本水泳連盟基礎水泳指導員

(5) サービス提案改善事業

No.	事業名	内容	期間	回数	時間	講師
21	eスポーツ体験型講習会	ドローンについての基礎知識を学び、スカイクック(ドローンサッカー用小型ドローン)を用いたドローン操作の体験やミニゲームなどを行います。	令和3年10月～令和3年12月	4	—	(株)エーディーイー

(6) 自主事業

No.	事業名	内容	期間	回数	時間	講師
22	テーマ設定型研修会・個別相談会	講義 「養護者(家族)による障がい者虐待事案への対応と支援」 事業説明 「大分県障がい者差別解消・権利擁護推進センターの役割と機能について」	令和4年3月5日	1	10:00～11:50	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター 別府市基幹相談支援センター・障害者生活支援センター 課長補佐 青山昌憲 大分県障害者社会参加推進センター 事務局長 高窪 修

(7) あすびあ倶楽部

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	備考
23	あすびあ倶楽部(切り絵・折紙)	障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じて共に楽しむ場として開設	令和3年4月～令和4年3月	8	13:30～15:00	
24	あすびあ倶楽部(将棋)		令和3年4月～令和4年3月	7	13:30～15:00	
25	あすびあ倶楽部(機織り)		令和3年4月～令和4年3月	7	13:30～15:00	
26	あすびあ倶楽部(オカリナ)		—	—	—	
27	あすびあ倶楽部(パンづくり)		—	—	—	
28	あすびあ倶楽部(英語)		—	—	—	

2 教室別参加人数内訳

(1) スポーツ・レクリエーション教室

教室・講座・大会名	回数	受講者・参加者内訳											合計
		障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他 一般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
親子スポーツ教室A	5	7	0	13	61	1	18	100	110	0	6	1	217
親子スポーツ教室B	5	0	0	0	36	2	0	38	24	0	5	1	68
親子水泳教室	6	1	0	11	36	0	18	66	80	12	11	9	178
卓球バレー教室	6	2	0	1	30	0	0	33	24	0	6	0	63
車いすテニス教室	4	11	0	0	20	0	5	36	11	5	6	0	58
スポーツウエルネス吹矢教室	3	6	0	0	16	0	0	22	8	8	8	0	46
ポッチャ教室	5	15	0	0	21	0	0	36	8	9	5	0	58
フライングディスク教室	3	6	0	1	10	0	1	18	7	4	3	0	32
計(a)	37	48	0	26	230	3	42	349	272	38	50	11	720

(2) 趣味・文化教室

教室・講座・大会名	回数	受講者・参加者内訳											合計
		障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他 一般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
料理教室A	6	4	6	0	15	0	0	25	7	12	6	0	50
料理教室B	6	3	0	4	17	0	2	26	11	12	6	1	56
絵画・造形教室	5	5	0	2	14	0	0	21	20	5	5	0	51
実用書道教室	6	12	0	1	11	2	0	26	5	4	14	0	49
絵手紙教室	4	24	0	0	12	0	0	36	14	8	5	0	63
パソコンアドバイス教室	4	2	0	4	4	0	0	10	4	8	10	0	32
おりがみ教室	5	4	4	0	11	0	5	24	15	13	5	0	57
音楽教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(b)	36	54	10	11	84	2	7	168	76	62	51	1	358

(3) 機能訓練教室

教室・講座・大会名	回数	受講者・参加者内訳											合計
		障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他 一般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
水中ウォーキング教室	9	61	8	0	0	3	0	72	12	17	9	9	119
水中リフレッシュ教室	4	22	0	0	0	2	0	24	2	3	3	0	32
いきいきリフレッシュ教室	8	33	0	7	0	0	0	40	5	15	8	0	68
リハビリ運動教室	6	18	0	4	16	1	0	39	17	8	9	0	73
園芸療法教室	2	8	0	0	2	2	1	13	5	4	2	0	24
計(c)	29	142	8	11	18	8	1	188	41	47	31	9	316

(4) 自主教室・講座等

教室・講座・大会名	回数	受講者・参加者内訳											合計
		障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他 一般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
水泳パーソナルレッスン	21	13	0	2	25	0	10	50	24	0	43	3	120
トレーニングパーソナルレッスン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あずびあ倶楽部	22	18	1	15	30	6	23	93	23	33	0	8	157
eスポーツ体験型講習会	4	6	0	0	9	2	0	17	9	8	4	36	74
テーマ設定型研修会・個別相談会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	16	0	25
計(d)	48	37	1	17	64	8	33	160	56	50	63	47	376

(5) 大会等

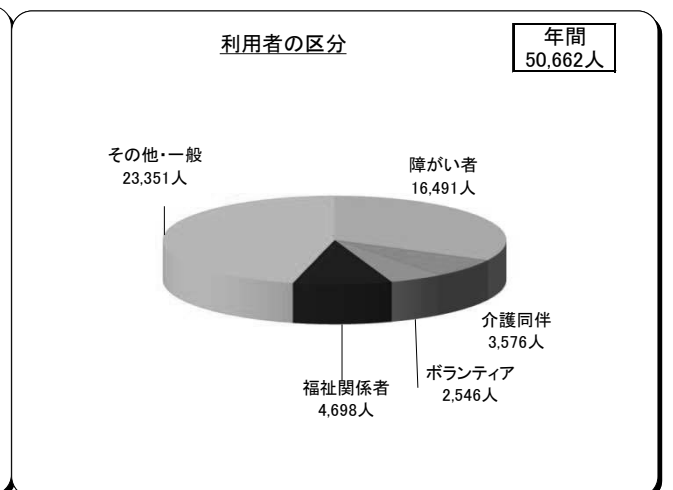
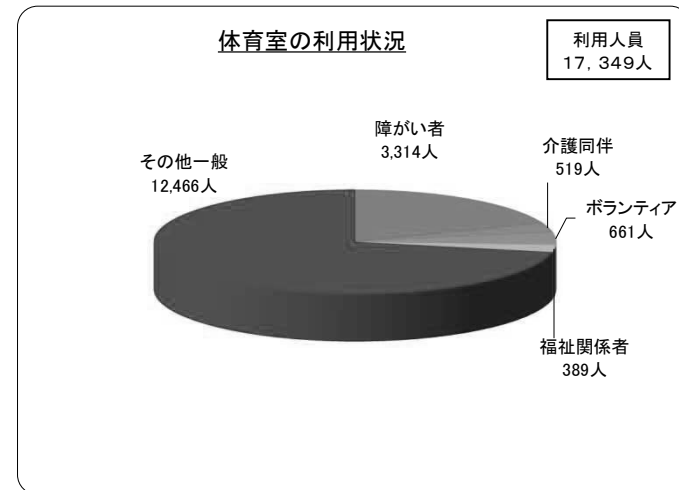
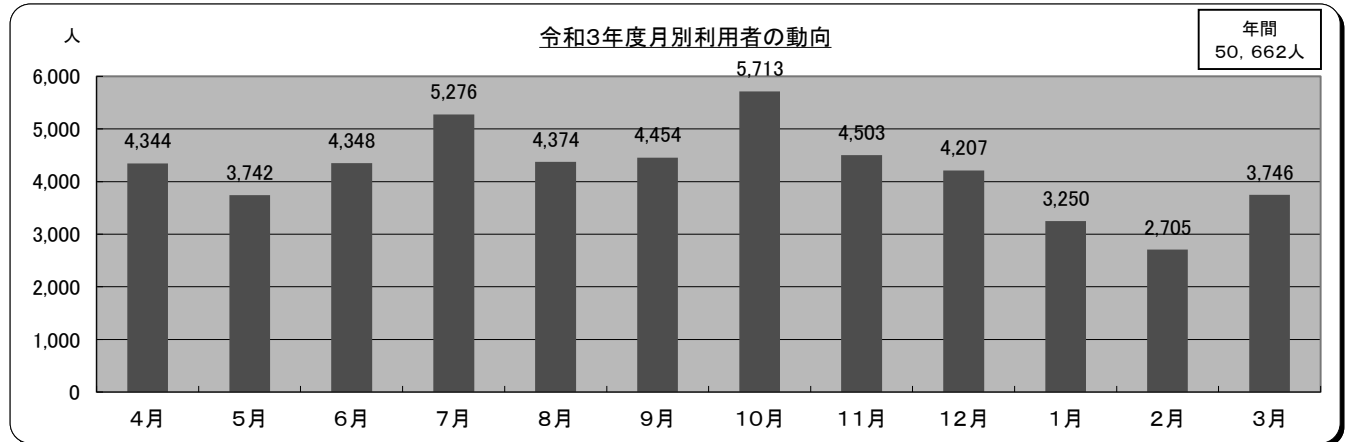
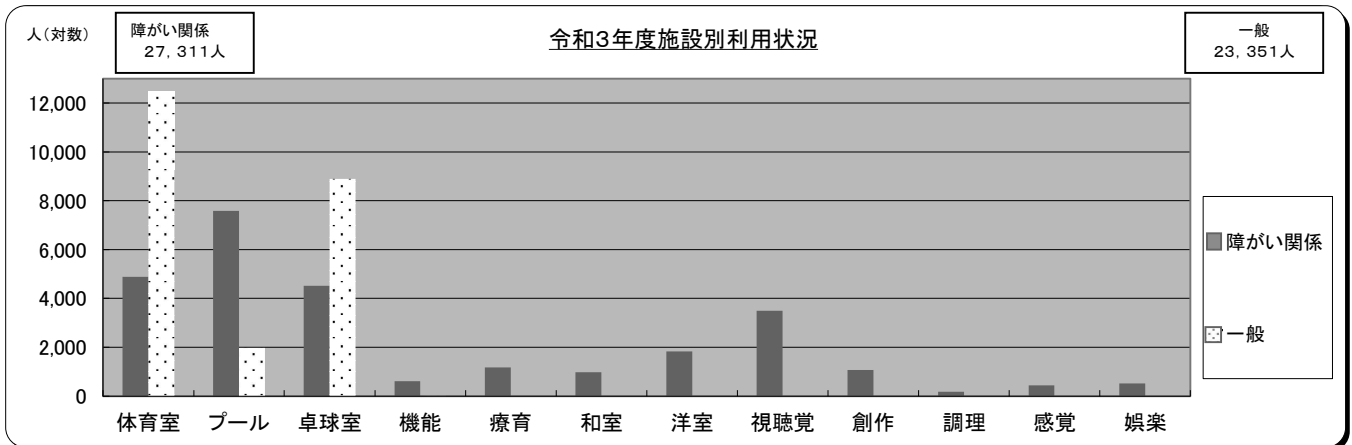
教室・講座・大会名	回数	受講者・参加者内訳											合計
		障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他 一般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
ふうせんバレーボール大会(第26回)	1	8	3	0	33	5	0	49	28	6	10	0	93
囲碁大会(第36回)	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	6	9
将棋大会(第36回)	1	5	0	0	1	0	7	13	0	0	1	4	18
卓球バレー大会(第18回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サウンドテーブルテニス大会(第35回)	1	0	14	0	0	0	0	14	2	3	10	0	29
フライングディスク大会(第16回)	1	7	0	1	11	0	0	19	6	2	5	0	32
県社協会長杯卓球大会(第35回)	1	25	0	2	5	0	3	35	25	5	3	120	188
オセロ大会(第4回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ吹矢大会(第7回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(e)	6	45	17	4	50	6	10	132	61	16	30	130	369

教室・講座等 総計(a~e)	156	326	36	69	446	27	93	997	506	213	225	198	2,139
----------------	-----	-----	----	----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

IV 令和3年度 施設別・障がい別利用状況表

単位:人

	団体利用					個人利用										合計
	障がい者	介護 同伴	ボラン ティア	福祉 関係者	その他 一般	肢体	視覚	聴、言	知的	内部	精神	介護 同伴	ボラン ティア	福祉 関係者	その他 一般	
体育室	3,314	519	661	389	12,466											17,349
温水プール	3,691	1,853	49	405	308	535	154	13	240	124	73	313	142	0	1,667	9,567
卓球室	174	4	24	18	0	2,994	21	813	96	12	345	18	0	0	8,895	13,414
機能回復訓練室	0	0	0	0	0	237	5	29	0	262	24	58	0	0	15	630
療育訓練室	767	229	121	66	0											1,183
生活訓練室(和)	370	100	314	193	0											977
生活訓練室(洋)	612	125	259	832	0											1,828
視聴覚室	752	232	648	1,872	0											3,504
創作作業室	312	36	145	575	0											1,068
調理実習室	68	26	68	14	0											176
感覚訓練室	120	53	91	183	0											447
娯楽室	334	10	24	151	0											519
合計	10,514	3,187	2,404	4,698	12,774	3,766	180	855	336	398	442	389	142	0	10,577	50,662



社会福祉介護研修センター

令和3年度は第4期指定管理者（令和3～7年度）初年度として、「2021大分県社会福祉介護研修センター研修体系」に基づき、行政職員や施設職員等の育成、資質・専門性の向上を図るとともに、県民への福祉・介護に関する知識や技術、福祉用具等の普及啓発に努めた。

オンライン研修の活用、定員の制限、手指消毒や換気の徹底など新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、階層別・職種別研修をはじめ、地域福祉活動従事者、認知症介護実践者、介護支援専門員に対する専門研修等を実施した。

一般県民向けには、高齢化の進展に伴い、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれるため、認知症介護教室には認知症ケア教室を、認知症予防教室には押し花アート教室を開設するなど認知症関係研修を充実した。また在宅での生活や介護の支援強化として、新たに言語聴覚士による専門相談日を設け、建築士の定期的な相談会も実施した。

また、ノーリフティングケア（持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア）については、先進施設の指定を行い、指定を受けた施設は他施設職員の研修を受入れるなど、更なる普及促進を図るとともに、サービス改善提案事業である「介護・福祉職場の魅力発信事業」でも、魅力ある職場として指定施設で働く従業員の様子を紹介するDVDを作成し、情報発信する。

毎年11月に、大分県保健医療団体協議会等と連携して開催する県民参加型の「センターまつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度も中止したが、福祉用具アイデア作品展を例年どおり実施し、公開介護教室にあわせ、優れた作品を表彰した。

福祉・介護人材確保対策としては事業所情報をYouTubeによりLive配信する「夏Web福祉のしごと就職フェア」を実施し、多くのアクセス数を得ている。また就職フェアの地域開催やハローワークでの相談会を行うほか、福祉人材センター専用ホームページを開設し、最新情報の発信を強化した。さらに、これまでの「介護入門者研修」に加え「介護の仕事入門セミナー」を開催し、介護未経験者などの多様な人材の参入促進を図った。

総務・人材部

【福祉人材センター事業】

福祉関係の求人・求職の紹介・斡旋、ホームページ開設等による情報提供、直接面談やWebによる就職フェア、福祉の仕事を目指す学生の意識調査、社会福祉施設ガイドブック作成や子どものための福祉講座などを実施し、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

（1）福祉人材無料職業紹介事業

- ①情報提供 求人情報一覧の配布（毎月）
求人票の掲示（福祉人材センター内）
福祉人材センターホームページ開設での最新求人情報発信

②月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談(件)	245	160	264	335	309	239	254	202	211	215	166	214	2,814
求職(人)	36	36	18	37	22	30	32	33	24	21	25	22	336
求人(件)	58	78	123	147	98	134	102	80	140	144	71	100	1,275
(人)	102	116	198	315	177	229	173	130	264	238	114	190	2,246
紹介(人)	5	2	0	0	4	2	1	2	4	1	1	5	27
就職(人)	6	1	0	0	1	1	0	1	3	0	1	5	19

(2) 福祉職場への就職説明会の実施

①2021年夏 Web 福祉のしごと就職フェアの開催 <Webに変更>

Live 配信会場：大分県社会福祉介護研修センター

Live 期日：令和3年8月7日(土)・8日(日)

Live 事業所：30事業所

事前申込者：76人(学生49人、一般求職者27人)

YouTube アクセス件数：927件

②2022年春 大分・別府・由布地域福祉のしごと就職フェアの開催

<新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止>

予定会場：大分県社会福祉介護研修センター

予定期日：令和4年2月6日(日)

参加事業所：40事業所

事前申込者：4人(学生0人、一般求職者4人)

③「福祉のしごと就職フェア特設サイト」による支援

①②の就職フェアについては、特設サイト内に就職フェア参加希望事業所の求人内容等を掲載し、掲載事業所と面談希望者の就活を支援した。

(8/7・8夏フェア) (2/6春フェア)

面談募集期間： 8月～10月 2月～3月

掲載事業所： 46事業所 41事業所

面談希望者： 0人 2人

就職決定者： 0人 0人

(3) 福祉人材確保推進事業の実施

①大分県福祉人材確保推進会議の開催

福祉、特に介護人材の確保を図るため、課題の共有化、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催した。

期日：令和4年1月18日(火) (書面審議)

内容：令和3年度の取り組み状況等について

委員：県（高齢者福祉課、障害福祉課、雇用労働政策課）、大分労働局、大分公共職業安定所、介護労働安定センター大分支部、社会福祉法人経営者協議会、老人福祉施設協議会、老人保健施設協会、知的障害者施設協議会、身体障害児者施設協議会、介護福祉士会、智泉福祉製菓専門学校、別府溝部学園短期大学、県立大分南高校の各代表者

②介護職再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する方または介護福祉系資格を取得後、介護職への就職を目指す方を対象に、実践的な介護技術・知識を身につけるための研修を実施。

実施回数：2回（各3日間：2回目は中止） 参加人数①29人②中止

	日時	内容	参加人数
第1回	8月19日（木）	福祉用具を使った移乗・ポジショニングの基本	10人
		排泄ケア・正しいオムツのあて方	
	8月24日（火）	認知症ケアの原点	9人
		介護職に知っておいてほしい感染症対策と医療の知識	
	8月26日（木）	訪問介護業務の実際 ヘルパーとしてのやりがいとは	10人
		介護職員に求められる栄養知識と短時間調理のコツ	
第2回	3月9日（水）	在宅生活を支える訪問系・通所系サービスの実際	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		排泄ケア・正しいオムツのあて方	
	3月10日（木）	食事介助の実際～言語聴覚士の立場から～	
		身体に負担をかけない移乗	
	3月11日（金）	介護職に知っておいてほしい医学的な知識	
		盛り上がるレクリエーションのコツ	

③子どものための福祉講座

小・中・高校生（介護福祉系学科を除く）に対して、介護福祉体験や地域の様々な資源とつながりを持った福祉教育を実施し、地域社会の一員としての福祉意識の向上と、これからの福祉を担う人材の育成を図った。

ア 小・中・高校生のための介護福祉体験

実施主体：大分県社会福祉介護研修センター

実施回数：9回

参加延人数：338人

実施日	実施団体	内容	参加者数
6/11	NBU 日本文理大学附属高校	高齢者疑似体験・車いす体験 福祉用具展示場見学	24人
8/8	日本ボーイスカウト大分県連盟	車いす体験・福祉用具展示場見学	16人
8/10	北宇佐中学生・高校生学習会	高齢者疑似体験・車いす体験 福祉用具展示場見学	20人
10/15	大分市立明野西小学校4年生	介護体験・車いす体験 福祉用具展示場見学	68人

10/21	大分市立明野東小学校 4 年生	介護体験・車いす体験 福祉用具展示場見学	74 人
10/28	大分県立情報科学高等学校 2 年生	高齢者疑似体験・寝返りの介助 車いす体験・福祉用具展示場見学	11 人
10/29		認知症について・移乗の介助 着がえの介助・清拭	12 人
11/9	大分市立東植田小学校 4 年生	視覚障がいを知る体験 車いす体験・福祉用具展示場見学	87 人
11/30	大分県立大分支援学校中学 2 年生	視覚障がいを知る体験 車いす体験	26 人

イ 子どものための福祉講座

実施主体：市町村社会福祉協議会

実施回数： 20 回

参加延人数： 1,337 人

実施日	実施団体	内容	参加者数
9/3	佐伯市立彦陽中学校 3 年生	アイマスク体験・車いす体験	25 人
9/9	佐伯市立東雲中学校 1 年生	盲導犬とのふれあい	18 人
10/14	佐伯市立切畑小学校 6 年生	手話体験	25 人
10/14	佐伯市立東雲小学校 3、4 年生	アイマスク体験	16 人
10/21	佐伯市立切畑小学校 6 年生	盲導犬体験	24 人
10/25	大分市立南中学校 3 年生	車いす体験・アイマスク体験	96 人
11/9	別府市立山の手小学校 4 年生	ユニバーサルデザインと 車いすについて	93 人
11/12	大分市立賀来小学校 4 年生	視覚障がいについて（盲導犬） 聴覚障がいについて（手話） 車いす体験	102 人
11/16	佐伯市立上野小学校 5 年生	高齢者疑似体験	33 人
11/16	別府市立山の手小学校 4 年生	盲導犬とのふれあい	91 人
11/16	大分市立東大分小学校 4 年生	聴覚障がい（手話体験）	77 人
11/19	佐伯市立上野小学校 3 年生	アイマスク体験	28 人

実施日	実施団体	内容	参加者数
11/19	大分市立桃園小学校4年生	視覚障がいについて (盲導犬・点字)	76人
11/24	大分市立野津原小学校4年生	視覚障がいについて(盲導犬) 障がい者スポーツについて (ボッチャ)	36人
11/26	大分市立明野西小学校4年生	視覚障がい・聴覚障がいについて	74人
11/29	大分市立こうぎき小学校6年生	視覚障がいについて(盲導犬) 障がい者スポーツについて (ボッチャ)	33人
12/3	大分市立東陽中学校2年生	車いす体験 聴覚障がいについて(手話)	135人
12/11	姫島村青少年健全育成村民会議	福祉講話 認知症について	14人
12/14	別府市立青山中学校1年生	障がいのある人へのいじめや差別について	203人
12/15	大分市立下郡小学校4年生	視覚障がいについて(盲導犬) 障がい者スポーツについて (ボッチャ)	138人

④調査・研究事業の実施

ア 福祉の職場への就労を目指す求職者の意識や希望する労働条件等を調査し、職業紹介に活かすことにより、今後の人材確保に資するため、「福祉の仕事を目指す学生の意識調査」を実施した。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「社会福祉施設ガイドブック」(令和3年度版)を作成した。

(4) 人材確保特別推進事業の実施

①社会福祉施設等新任職員研修及び新任介護担当職員研修の開催

ア 社会福祉施設等新任職員研修

社会福祉従事者として必要な基礎知識、心得や福祉の理念及び介護技術等を習得するとともに、自己啓発を図ることを目的として実施した。

(前期) 期 日：令和3年4月15・16日、22・23日

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：148人

内 容：講義・演習 (計2日間×2組)

(後期) 期 日：令和4年3月(中止)
 場 所：大分県社会福祉介護研修センター
 参加者： - 人
 内 容：講義・演習 (計2日間)

イ 社会福祉施設等新任介護担当職員研修

介護業務に携わる職員の均質化を図るとともに、サービスの全体の質の向上を図ることを目的に実施した。

期 日：令和3年6月2・3日 計2日間
 場 所：大分県社会福祉介護研修センター
 参加者：25人
 内 容：講義・演習・実技講習

②社会福祉士養成講座の開催

令和3年度(第34回)社会福祉士国家試験の受験対策として、大分県社会福祉士会の協力を得ながら受験対策講座を実施した。

期 日：令和3年10月1日～11月30日(2ヶ月間)
 *YouTubeによる動画配信
 及び模擬試験10月31日
 参加者：講義 20人
 模擬試験 69人
 内 容：講義 10科目 模擬試験

【日田市福祉人材バンク事業実績】

(1) 福祉人材バンク事業

求職登録者への求人情報紙の配布(3ヶ月に1回)
 日田市社会福祉協議会のホームページに求人情報一覧を掲載(4回)
 求人確保のための施設訪問等実施 78回

※月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談(件)	12	12	13	13	32	15	13	10	10	17	13	12	172
求職(人)	13	0	1	0	14	2	1	1	0	12	0	0	44
求人(件)	29	28	41	38	29	46	45	30	44	52	29	37	448
(人)	52	37	59	59	43	57	69	44	56	82	39	47	644
紹介(人)	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
就職(人)	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3

(2) 説明会・講習会等の実施

「2021 介護職場就職支援講習会」の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

期 日：令和4年3月

内 容：施設見学

(3) 福祉人材確保相談事業の実施

①企業合同 ビジネス合コン企業合同説明会

期 日：令和3年11月28日（日）10：00～15：30

場 所：サンヒルズ日田

相談者：2人

②第24回 市民健康福祉まつり・相談コーナー<式典のみ実施>

(4) 啓発、広報事業の実施

①機関誌の発行

日田市社会福祉協議会と共同発行「社協だより・ひた」に福祉人材情報を掲載（年3回）。約27,000部を作成し、市内全戸に配布。

（令和3年7月号、11月号、3月号掲載）

②関係市町との連携

日田市、玖珠町、九重町の広報誌に福祉人材情報を掲載

日田市及び日田市社協公式ウェブサイト福祉人材センター・バンク情報を掲載

【福祉・介護人材確保対策事業】

福祉・介護職員等の福祉人材の確保・定着を図るため、福祉・介護事業者と就職希望者との面談の機会を提供する地区別就職フェアの開催や、福祉に関心のある者に対して職場を体験する機会を提供するなど、福祉職場への参入を促した。

また、コロナ禍による制限がある中、ハローワーク等での相談や事業所訪問を通じて福祉・介護人材のマッチング支援を行った。

1 事業実績

(1) 職場体験事業

福祉・介護の仕事に関心のある者に対して、職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供することにより、福祉・介護の仕事への関心を高め、人材の参入を促進した。

実施期間：令和3年6月1日から2月26日まで

体験者数：36人（実数 23人）

受入施設：36施設（実数 22施設） 延べ 78日

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
延人員	0	4	28	1	1	1	0	1	0	36
延日数	0	11	61	2	1	2	0	1	0	78

*就職決定者数： 0人

(2) 介護入門者研修実施事業

- 会 場 ① 中津総合ケアセンターいずみの園
② 別府市社会福祉会館 (中止)
③ 大分県社会福祉介護研修センター
- 期 日 ① 令和3年7月14日、21日、28日、8月4日 (4日間)
② 令和3年9月24日、10月1日、3日、8日 (4日間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
③ 令和3年11月21日、28日、12月5日、12日 (4日間)
- 参加者 ① 11人 ② 一人 ③ 17人
- 内 容 介護未経験かつ無資格の方が、日常に役立つ介護の知識や介護職としての必要な基本的技術の実践的手法を学ぶ。3時間の「基礎講座」と18時間の「入門講座」 (合計21時間)

(3) 介護職員初任者研修資格取得助成事業

介護職員初任者研修を修了した者に対して、助成金を支給することにより、地域の福祉・介護人材の育成及び確保・定着を支援した。

支給者数：40人 助成金額 1,089,000円

(4) 介護の仕事入門セミナー事業の開催

介護サービス事業への幅広い新たな人材の確保をめざして、介護の仕事に関心のある方、介護の仕事に就きたいと考えている方などの掘り起こしを図り、就労や学びへの動機づくりのため開催した。

〈期日・会場〉

- ①別府会場：令和3年8月28日 別府市社会福祉会館 (新型コロナ感染拡大防止のため中止)
②大分会場：令和3年9月3日 ホルトホール409会議室 (LIVE配信) 10人
③別府会場：令和3年11月30日 別府市社会福祉会館 受講者4人
④大分会場：令和4年3月4日 ホルトホール409会議室 受講者14人

〈内 容〉：(講義：介護職の魅力紹介)

- ・介護に関する基礎知識
- ・介護福祉の仕事紹介
- ・段階的専門研修の紹介
- ・介護施設職員による介護職の魅力紹介

(5) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

福祉人材センターに福祉人材確保推進員3人を配置し、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を実施した。

①ハローワーク等における出張相談

大分を除く6か所のハローワークで月2回(中津は月1回)「福祉のしごと出張相談」を実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため9月(日田は除く)及び1/20~2月は中止した。(ホルトホールは5,6,9,2月中止。)

〈ハローワーク等出張相談実績〉

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談者総数	15	8	9	13	4	1	24	15	5	1	0	4	99
ハローワーク別府	9	4	7	7	3	0	18	6	2	0	0	2	58
日田	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
宇佐	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
中津	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
佐伯	1	1	1	3	0	0	3	2	0	0	0	0	11
豊後大野	0	0	1	3	0	0	1	1	0	0	0	2	8
ホルトホール大分	4	0	0	0	0	0	2	4	3	1	0	0	14
性別													
男性	8	4	2	4	0	1	11	7	3	0	0	1	41
女性	7	4	7	9	4	0	13	8	2	1	0	3	58
福祉関係資格								2		1		1	不明4
無資格者	11	6	5	10	3	0	16	7	3	0	0	2	63
有資格者	4	2	4	3	1	1	8	6	2	0	0	1	32
年齢													
10代	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20代	2	1	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	9
30代	3	2	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	10
40代	3	3	2	3	2	0	6	6	0	0	0	3	28
50代	5	1	3	5	1	0	7	5	2	1	0	1	31
60代	2	0	4	2	1	0	3	2	3	0	0	0	17
不明	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3

(「福祉関係資格」及び「年齢」には、不明の者は含まない。)

相談内容については、「求人を知りたい」が56件(27.5%)、福祉の仕事について知りたい」が61件(29.9%)、「資格の取得方法を知りたい」が52件(25.5%)、「職場体験事業について」が20件(9.8%)、「その他」が15件(7.4%)であった。

②その他の出張相談等

ア 出張相談・出張登録等

名称	月日	会場	相談者数
出張登録	7月28日	いずみの園 (大分県介護入門者研修)	11人
出張登録	8月28日	県総合社会福祉会館 (大分市介護入門者研修)	25人
出張登録	9月21日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働安定センター)	21人
合同企業就職説明会	11月28日	サンヒルズ日田 (日田企業合同就職説明会)	2人
出張登録	12月5日	県社会福祉介護研修センター (大分県介護入門者研修)	17人
出張登録	3月5日	県総合社会福祉会館 (大分市介護入門者研修)	20人

合同企業就職説明会	3月19日	国東市アストくにさき (国東市合同企業就職説明会)	1人
計7回			97人

(求職登録16人、就労者2人)

③地域別就職フェア等の開催

ア 日田・玖珠・九重地域福祉のしごと就職フェア

期 間：令和3年8月21日（土）

※22日（日）の直接面談会は新型コロナ感染拡大防止のため中止

内 容：WEBによる就職面接会（対象事業所：毎月の求人登録事業所）

面談申込者：0人

イ 県北地区福祉のしごと就職フェア <中止>

会 場：中津市教育福祉センター

期 日：令和3年9月25日（土）

参加者：一人

内 容：就職面接会（参加事業所：10事業所）

ウ 県南地区福祉のしごと就職フェア

会 場：佐伯市保健福祉センター和楽

期 日：令和3年10月23日（土）

参加者：3人

内 容：就職面接会（参加事業所：10事業所）

エ 速見・杵築・国東地域福祉のしごと就職フェア

会 場：杵築市文化体育館

期 日：令和3年10月27日（水）

参加者：15人

内 容：就職面接会（参加事業所：10事業所）

オ 豊肥地区福祉のしごと就職フェア

会 場：豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの

期 日：令和3年11月20日（土）

参加者：3人

内 容：就職面接会（参加事業所：8事業所）

※ 就職フェアによる就職決定者数 計2人

④事業所訪問

コロナ禍において、福祉・介護事業所への訪問が制限される中、福祉人材確保推進員が、訪問、電話、ファックス、メールなどにより、人材確保や定着に関する情報提供や助言指導等を行った。

⑤福祉の就職フェア・出張相談会の広報

ポスター・チラシ作成、新聞折り込み、関係諸機関配布、新聞5社に「就職フェア」、「福祉のしごと相談会」の広告掲載

特設サイトによる参加事業所の求人情報掲載や個別面談のPR

【福利厚生センター事業】

福祉・介護人材確保対策の一環として、民間社会福祉従事者等の福利厚生を充実することを目的に、平成6年度に設置された社会福祉法人福利厚生センターが運営する「ソウェルクラブ」への加入促進を図るとともに、県内会員を対象とした会員交流事業を実施した。

(1) 福利厚生センター事業の実施

- ①会員の加入促進
 - ア 加入勧奨事業
 - ・研修センターだよりに案内記事を掲載
 - ・社会福祉施設長研修会での資料配付、説明
 - イ 令和3年度の加入状況（掛け金ベース）

65 法人	162 事業所	3,701 人
-------	---------	---------
- ②会員の健康管理
 - 生活習慣病予防検診費用助成 2,129 人
- ③会員の慶事のお祝い
 - ア 永年勤続記念品贈呈 532 人
 - イ 出産お祝品贈呈 86 人
 - ウ 資格取得記念品贈呈 69 人
 - エ 結婚お祝品贈呈 52 人
 - オ 入学お祝品贈呈 210 人
- ④会員のリフレッシュ
 - クラブサークル活動助成 40 サークル

(2) 会員交流事業等の実施

- ①レジャー施設等利用補助券（1,000円相当）の発券
 - 発券枚数： 0枚（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
 - 利用実績： 0枚
 - 指定施設：九州自然動物公園アフリカンサファリ、スギノイパレス、ラクテンチ、豊の国健康ランド、城島高原パーク、ハーモニーランド、うみたまご、くじゅう花公園、CITY SPA てんくう
- ②映画チケット（会員負担金 800円/枚）の発券
 - 発券枚数： 0枚（TOHOシネマズ全国共通券）
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

③会員交流事業（1事業）

行事名	開催日	内 容	募集	申込	配布
その他 (1)	1月5日	「QUOカード」1,500円分 全会員へ配布(12/25時点の会員)	—	—	3,711セット

【介護支援専門員実務研修受講試験】

大分県から指定試験実施機関の指定を受け、介護支援専門員実務研修受講試験を次のとおり実施した。

(1) 試験日

令和3年10月10日(日)

(2) 試験会場

大分大学 且野原キャンパス 大分市大字且野原700

大分県社会福祉介護研修センター 大分市明野東3丁目4番1号

(3) 受験申込期間

令和3年6月1日(火)～6月30日(水)

(4) 合格発表

①発表日時

令和3年12月2日(木)12時

②掲示場所

- ・社会福祉介護研修センターHP、県庁HP
- ・県庁本館、県内各振興局の掲示板

(5) 受験者数等の状況

①受験申込者数 678人

②受験者数 600人

③合格者数 127人(合格率21.2%、全国平均23.3%)

(6) 主な業務内容

①試験会場の確保

②受験案内の作成、印刷

③試験概要の広報

④受験申込受付、申込書・写真票の整理

⑤受験資格審査、受験票発送

⑥試験対応(試験監督員への説明会、試験会場準備、警備員の確保等)

⑦採点集計業務、受験データ等チェック

⑧HP、掲示板等での合格発表、本人への合否通知

⑨試験結果の本人への簡易開示

介護研修・総合相談部

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により外出を自粛する生活が続き、家庭でのフレイル予防や地域での介護機能の強化を図る新規テーマの教室を開催した。また、認知症に関する教室を関係機関と連携して拡充するなどニーズに応じた内容を実施した。さらに、介護支援や介護者の負担軽減のための介護ロボット等の体験を重視した福祉用具展示場の見学や、住宅改造モデル展示場を活用した在宅生活を支援する住宅改修教室を開催した。

また、各種教室や展示場の新規福祉用具等は、SNSを活用して広報し、介護実習・普及センターの役割を積極的に周知した。

【介護実習・普及センター事業】

(1) 一般県民等対象研修関係

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
見学コース (一般)	県民・企業・海外他	10	301
介護入門コース (一般)	県民・企業・海外他	25	578
介護予防教室(1日間)	県民	11	167
介護技術教室 (8日間)	県民	3	237
認知症予防教室(1日間)	県民	16	247
認知症介護教室 (1日間)	県民	16	301
テーマ別教室 (1日間)	県民	5	80
公開介護教室 (1日間)	県民	4	280
合 計		90	2,191

(2) 専門職対象研修

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
福祉用具・介護ロボット等研修	介護支援専門員、福祉用具貸与事業者等	2	51
合 計		2	51

(3) 啓発及び情報提供

- ①パンフレット等の配布、新聞記事や情報誌への掲載、SNSを活用した運動教室の配信の実施
- ②図書・DVD等の貸出 貸出件数 96 件、297 本

【委託事業】

(1) 社会福祉施設職員等研修事業

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
介護技術講師養成研修 (11日間)	特別養護老人ホーム・障害者支援施設等の介護福祉士、訪問介護員等	1	21
介護技術講師継続研修 (1日間)	介護技術講師	1	13

障がい者（児）居宅介護職員養成 研修（2日間）	介護保険法に基づく訪問介護員 養成研修修了者	1	24
合 計		3	58

（２）介護予防職員育成推進事業

（回、人）

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
介護保険事業所トップセミナー	指定訪問介護事業所又は指定通所 介護事業所における開設者、管理 者等	1	80 （集合17 Zoom63）
サービス計画担当者研修 【基礎課程】（2日間） 【応用課程】（4日間）	指定訪問介護事業所又は指定通 所介護事業所における 現任のサービス計画担当者	（基礎） 2	60
		（応用） 2	30
介護職員現任者研修 （3日間）	指定訪問介護事業所又は指定通 所介護事業所における現任の介護 職員	3	38
合 計		8	208

【自主事業】

（１）福祉用具専門研修

（回、人）

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
福祉用具プランナー研修 （8日間）	介護支援専門員、理学療法士、作業 療法士、介護福祉士等	中止	
福祉用具専門相談員指定講習 会（7日間）	福祉用具専門相談員を目指す者	1	29
リフトリーダー研修 （2日間）	施設等で腰痛予防策を積極的に推進 しようとする者	1	30
合 計		2	59

（２）介護担当職員技術研修

（回、人）

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
摂食・嚥下&口腔ケア 1 DAYセミナー	「食」に携わる医療、介護、福祉職 等	1	101
排泄初級セミナー	排泄ケアに関わっている者、または 今後今後関わる者	中止	
摂食・嚥下セミナーおよび排 泄初級セミナー合同スキルア ップセミナー	関心のある者（資格は問わない）	1	13
介護技術セミナー 介護職員技術基礎研修	病院、介護施設、障害者施設等に従 事している介護職員（経験年数概ね 3年以内の方）	1	16
合 計		3	130

【高齢者総合相談事業】

急速に進行する高齢社会に対応するため、高齢者やその家族が日常生活において抱える心配ごと・悩みごと、また介護の問題や福祉用具、高齢者が住みやすい住宅の改修などの相談に応じた。また、情報の収集や提供をすることにより、高齢者及びその家族の福祉の増進に努めた。

(1) 相談事業

- ①日常生活における心配ごと・悩みごとなどの一般相談
- ②医療・介護・機能回復、住宅増改築、からだの悩み、法律、税務、言語聴覚士、認知症介護の専門相談

- ③相談件数 5,502 件
 (内訳) 電話 2,735 件
 来所 2,767 件

(内訳) (件、%)

	生活安全	法律	経済	福祉サービス	保健・医療	計
電話	967	152	55	1,198	363	2,735
来所	244	21	59	2,365	78	2,767
計	1,211	173	114	3,563	441	5,502
割合	22.0%	3.1%	2.1%	64.8%	8.0%	100.0%

(相談件数の推移)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
5,212件	5,753件	6,678件	5,553件	5,502件

(2) 福祉情報の収集・提供

- ①大分県高齢者総合相談センターホームページに研修、利用者情報を掲載
- ②広報紙「大分県社会福祉介護研修センターだより」や新聞広告による情報提供
- ③相談業務担当職員に対する研修の実施 2回 62人

(3) 啓発事業

- ①生活・介護用品アイデア作品展

福祉専門校、福祉施設や一般から募集した介護用品について、独自の工夫等により介護者の負担の軽減を図ったアイデア作品を展示した。

・出品数 53点

(4) 福祉用具等の相談内容

(件、%)

項 目	件数	率	項 目	件数	率
排泄	166	6.5	被服	282	11.1
入浴	436	17.1	自助具	210	8.3
移動	563	22.1	コミュニケーション	192	7.6

項 目	件数	率	項 目	件数	率
移乗	208	8.2	ユニバーサルデザイン	56	2.2
ベッド、床ずれ	201	7.9	住宅改修等	229	9.0
合 計				2,543	100.0

(5) 高齢者の居住環境の改善に関する啓発

住宅改造モデル展示場のリーフレット等による啓発と具体的な相談対応などの活用

(6) 関係機関との連携

地域包括支援センター、在宅介護支援センター、地域総合相談支援センター、保健所、福祉事務所、市町村社協など関連機関と随時情報交換を行い、各種相談に応じた。

・相談件数：391件

【ノーリフティングケア普及促進事業】

介護現場における職員の離職防止・定着促進及び生産性の向上などを旨として、ノーリフティングケア（持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア）の普及促進を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実地研修では、オンラインを使用する方法に変更するなど、事業所間で工夫して実施した。

1. マネジメント研修（6月16日：116人参加）

①施設長等の意識改革、②導入に係る組織体制・職員研修、③福祉機器導入支援

2. ノーリフティングケア指導者養成研修（1組各5日間で2組、7～12月実施）

1組10施設、2組9施設の合計19施設が参加

①マネジメント研修（1、3、5日目）②技術指導者講習（2、4日目）

3. ノーリフティングケア先進施設指定

①先進施設指定

マスター2施設、アドバンス4施設を指定

②先進施設研修

先進施設において他施設の職員を受け入れ、計9回40名に研修（研修時間3～5時間）を実施した。

社会福祉研修部

【社会福祉従事者等研修事業】

県市町村の福祉関係行政職員、社会福祉施設及び社会福祉協議会の役職員など、社会福祉従事者の資質向上のための研修を実施し、マンパワーの育成に努めた。

(1) 行政職員研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
新任職員研修	着任後1年未満の職員	2日	69人
高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉担当職員	1日	13人
障がい福祉担当職員研修	障がい者福祉担当職員	1日	中止

(2) 社会福祉施設職員等研修

①階層別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者	
新任職員研修	(前期)	実務経験1年未満の職員	4日	148人
	(後期)		2日	中止
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程1組	各職場において、中堅職員に相当する者	2日	18人	
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程2組	各職場において、中堅職員に相当する者	2日	29人	
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程3組		2日	16人	
指導監督職員研修	指導監督職員	2日	41人	
施設長研修	施設長	1日	40人	
理事(長)研修	法人の理事長及び理事	1日	52人	

②職種別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者	
高齢者福祉施設相談職員研修	高齢者福祉施設の相談員	1日	19人	
新任介護担当職員研修	新任介護担当職員	2日	25人	
障がい児(者)施設等職員研修	直接処遇職員	1日	中止	
事務担当職員研修	事務担当職員	2日	中止	
給食担当職員研修	調理員	1日	中止	
	管理栄養士・栄養士	2日	24人	
看護担当職員研修	看護担当職員	1日	中止	
介護支援専門員実務研修	令和2年度合格者等	7日	82人	
	令和3年度合格者等	6日	121人	
介護支援専門員 専門(更新)研修	課程Ⅰ	6か月以上	11日	118人
	課程Ⅱ	3年以上	8日3組	275人

介護支援専門員更新研修	介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者(実務未経験者)	11日2組	150人
介護支援専門員再研修	介護支援専門員証の有効期間が失効した者	11日2組	65人

③課題別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
認知症介護基礎研修	介護保険施設等の介護職員	1日2組	491人
認知症介護実践者研修	介護保険施設等の実務者、グループホームの計画策定担当者就任予定者等	7日2組	166人
認知症介護実践リーダー研修	介護保険施設等の実務者	10日	43人
認知症対応型サービス事業開設者研修	開設者、代表者、役員	1日	7人
認知症対応型サービス事業管理者研修	管理者の就任予定者	3日	58人
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	計画作成担当者、就任予定者	2日	13人
福祉サービス実践力向上研修「魔法の朝礼～サンリオピューロランドの人づくり」	施設職員	1日	中止
新型コロナウイルス感染症対策講座	社会福祉施設職員	1日	144人

(3) 地域福祉活動従事者研修

①社会福祉協議会職員研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
社会福祉協議会新任職員研修	新任社協職員	1日	53人
社会福祉協議会課長・係長研修	社会福祉協議会の課長・係長	2日	26人
社会福祉協議会理事・事務局長研修	社会福祉協議会の理事・事務局長	1日	26人

②地域支援事業関連

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
生活支援コーディネーター 養成研修	市町村のコーディネーター、行政担当者	4日	201人
地域包括支援センター（初任者・現任者）養成研修	地域包括支援センター、市町村、保健所	4日	213人
地域ケア会議コーディネーター養成研修	市町村、地域包括支援センター職員、各専門職	3日	248人
在宅医療・介護連携研修	市町村、医療・介護関係者、保健所	2日	236人

令和3年度 大分県福祉サービス運営適正化委員会事業報告

大分県福祉サービス運営適正化委員会は、運営監視合議体と苦情解決合議体の2つの委員会により、日常生活自立支援事業の監視を通じ、同事業の適正な推進と利用者等からの苦情の適正な解決を図ることに努めた。

1 大分県福祉サービス運営適正化委員会の運営

(1) 福祉サービス運営適正化委員会の開催

開催年月日	議 題
11月24日	・委員長選出 ・令和2年度事業報告

2 福祉サービス利用援助事業の監視

大分県社会福祉協議会から契約締結審査会や市町村社会福祉協議会の現物調査等日常生活自立支援事業の実施状況について報告を受け、本事業全般の監視を行った。

(1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、福祉サービス利用援助事業実施状況についての報告を受け、事業内容や個別ケースについて必要に応じて助言を行った。

(2) 福祉サービス利用援助事業に係る現物調査

日常生活自立支援事業担当者とともに福祉サービス利用援助事業を行う社会福祉協議会を訪問し、現地にて調査を実施し、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス等関係書類の確認を行った。

(全調査者数：205件)

対象期間	対象社協名	調査日	調査件数
令和3年4月 ～令和4年3月	九重町	9月28日(火)	3
	玖珠町	9月28日(火)	9
	日田市	10月5日(火)	19
	中津市	10月19日(火)	13
	宇佐市	10月19日(火)	17
	大分市	10月21日(木)	11
	由布市	10月21日(木)	10
	竹田市	11月9日(火)	11
	国東市	11月12日(金)	15
	杵築市	11月12日(金)	13
	豊後大野市	11月19日(金)	17
	豊後高田市	12月1日(水)	14

	別府市	12月 8日(水)	14
	日出町	12月 8日(水)	6
	佐伯市	12月21日(火)	16
	臼杵市	12月23日(木)	13
	津久見市	12月23日(木)	2
	姫島村	2月17日(木)	2

3 福祉サービスに関する苦情の解決

福祉サービス利用者本人や家族などからの苦情や相談に対し、助言や関係機関につながるなどの対応をした。また、福祉サービス提供事業所における苦情解決体制整備を促進するため、事業所を対象とする研修会を開催した。

(1) 苦情解決合議体の開催

審議案件がなかったため、開催されなかった。

(2) 福祉サービスに関する苦情解決セミナーの開催

事業所段階での苦情解決が円滑に図られるように、社会福祉施設の苦情解決責任者や苦情受付担当者及び第三者委員を対象としたセミナーを開催し、苦情を福祉サービスの質の向上へどう繋げるのか等について研修し、以て現場における良質なサービス提供のための体制整備を促した。

開催年月日	内 容
令和3年12月21日 14:00～16:00	参加者：180人 テーマ：苦情相談への対応 相談援助の知識・技術の生かし方 講師：ルーテル学院大学 総合人間学部 教授 福島喜代子 氏 ※Z o o mによるオンライン研修

(3) 会議・研修への参加

開催年月日	会議および研修会名	主催団体
令和3年10月14日	令和3年度九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議（オンライン）	鹿児島県福祉サービス運営適正化委員会
令和3年10月28日 ～11月11日 (動画配信期間)	令和3年度運営適正化委員会事業相談員研修会	全国社会福祉協議会

(4) 福祉サービス提供事業者等に対する巡回指導

施設からの相談等により、事業所を訪問し体制整備の促進を図るとともに適正な運営の支援を行った。

実施期間	種 別	件 数
令和3年4月～ 令和4年3月	障害者支援施設	1

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の巡回訪問は中止した。

(5) 広報・啓発等

各種研修等において制度の説明を行うとともにパンフレット等配付し、広く制度の周知を図った。

作成・配付物	主な配付先
パンフレット	大分県介護研修センター介護教室、介護支援専門員実務研修、地域包括支援センター研修会、民生委員児童委員研修会、権利擁護・成年後見セミナー等
ホームページ	一般県民等

3 苦情等の受付及び対応等

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(1) 受付件数(月別、受付方法別)

・受付方法は電話が最も多い。

※「一般」には、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数を記入。

		受 付 方 法						計		備 考
		来所		電話		書面		苦情	一般	
		苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般			
R3年	4月			4	1		1	4	2	
	5月			3	6			3	6	
	6月			5	3			5	3	
	7月			10	1			10	1	
	8月			5	3	1		6	3	
	9月			5		1		6		
	10月			9		1	1	10	1	
	11月			3		2		5		
	12月			5	1	1		6	1	
R4年	1月			1	3	1		2	3	
	2月			2	1			2	1	
	3月			4	2			4	2	
合計				56	21	7	2	63	23	

(2) 令和3年度種別・申出人の属性

- 申出人のその他、代理人は友人・知人である。
- 障がい分野からの苦情や相談が多い。申出人は利用者本人と家族の割合が多い。
- その他分野の苦情には、病院、社協や生活保護に関するものが含まれる。
- 一般相談は、制度に関する質問などがある。

申出人 分野	利用者(本人)		家族		代理人		職員		その他		合計		備考
	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	その他	
高齢者	7	2	7	3	1			1	1	1	16	7	
障がい	32	5	2	2					1	1	35	8	
児童			1	1							1	1	
その他	14	1							1	2	15	3	
合計	53	8	10	6	1			1	3	4	67	19	

(3) 種別並びに苦情内容の区分

- 苦情の内容としては、①サービス内容（職員の接遇）に関する内容が多かった。
- あっせんや通知に至るまでの苦情解決対応はなかった。

苦情の相手先	区 分	受 付	苦 情 苦情解決の結果						一 般 相 談
			①	②	③	④	⑤	⑥	
			相 談 助 言	紹 介 伝 達	あ っ せ ん	通 知	そ の 他	継 続 中	
合 計	①サービス内容（職員の接遇）	31	12	18	0	0	0	0	1
	②サービス内容（サービスの質や量）	11	6	5	0	0	0	0	0
	③利用料	6	4	2	0	0	0	0	0
	④説明・情報提供の不足	7	5	2	0	0	0	0	0
	⑤被害・損害	5	2	2	0	0	0	0	1
	⑥権利侵害	7	4	3	0	0	0	0	0
	⑦その他	19	12	3	0	0	0	0	4
合 計	86	45	35	0	0	0	0	6	

(内訳)

高 齢 者	①サービス内容（職員の接遇）	5	2	3					
	②サービス内容（サービスの質や量）	3	2	1					
	③利用料	4	3	1					
	④説明・情報提供の不足	1	1						
	⑤被害・損害	1		1					
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	5	2	1					2
障 が い	①サービス内容（職員の接遇）	15	5	9					1
	②サービス内容（サービスの質や量）	6	3	3					
	③利用料	2	1	1					
	④説明・情報提供の不足	5	3	2					
	⑤被害・損害	3	2	1					
	⑥権利侵害	6	4	2					
	⑦その他	6	5	1					
児 童	①サービス内容（職員の接遇）	3	1	2					
	②サービス内容（サービスの質や量）	1	1						
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	0							
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	0							
そ の 他	①サービス内容（職員の接遇）	8	4	4					
	②サービス内容（サービスの質や量）	1		1					
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	1	1						
	⑤被害・損害	1							1
	⑥権利侵害	1		1					
	⑦その他	8	5	1					2

※1つのケースで区分が複数にまたがっているケースも、主たる区分のみを記入している。
(受付件数を、受付方法別や種別・属性別等の集計件数と合わせるため)

苦情受付件数 年次別推移

(単位：件、回)

区分/年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
苦情	3	20	18	23	11	28	23	27	28	27	26	50	36	40	42	14	38	38	25	29	49	63	658
一般	17	39	74	86	72	60	33	33	36	63	42	25	17	12	10	1	4	7	11	24	19	23	708
合計	20	59	92	109	83	88	56	60	64	90	68	75	53	52	52	15	42	45	36	53	68	86	1,366
対応延回数	21	142	121	137	97	100	103	162	141	228	230	203	119	126	120	33	123	114	72	66	68	86	2,612

※昨年度と比較すると相談件数は増加傾向にある。平均対応時間は30分～40分。
 対応延回数から見ると、月平均7件程度の相談を受けた。

